

官報

號外 昭和二十一年六月二十九日

第九十回 衆議院

議事速記録第八號

昭和二十一年六月二十八日(金曜日)

午後二時開議

議事日程 第七號

昭和二十一年六月二十八日

午後一時開議

第一 帝國憲法改正案

第一讀會(前會ノ續)

〔朗讀ヲ省略シテ報告〕

一、政府カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアール

(第二號)昭和二十一年度歳入歳出總豫算追加案

(以上六月二十七日提出)

一、昨二十七日議長ニ於テ次ノ通り常任委員辭任ノ許可ガアツタ

第三部選出豫算委員 北 勝太郎君

第三部選出豫算委員 木下 榮君

第八部選出豫算委員 三木 武夫君

第六部選出請願委員 林 平馬君

第三部選出懲罰委員 大原 博夫君

第八部選出懲罰委員 森 由己雄君

一、昨二十七日常任委員理事補選選舉ノ結果次ノ通り當選シタ

豫算委員
理事 米窪 滿亮君(野澤勝君
昨日理事辭任ニ付其ノ
補闕)

官報號外 昭和二十一年六月二十九日

衆議院議事速記録第八號 議長ノ報告 帝國憲法改正案 第一讀會(前會ノ續)

一、昨二十七日常任委員補選選舉ノ結果次ノ通り當選シタ

第五部選出

豫算委員 犬養 健君(長井源君補闕)

君補闕)

○議長(橋本虎三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、帝國憲法改正案ノ第一讀會ヲ開キ質疑ヲ繼續致シマス

安部俊吉君

第一 帝國憲法改正案

第一讀會(前會ノ續)

〔安部俊吉君登壇〕

○安部俊吉君 過去三日間ニ互リマシテ同僚諸君ノ質問演説ガアリ、之ニ對スル關係各大臣ノ御答辯モアリマシテ、日本憲法草案ノ内容ト實質ト大體ニ於テ明カニナツタノデアリマス、私重復テ避ケマシテ、以下六項目ニ付テ政府ノ所見ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス

憲法草案ニ關シテ本員ノ最も欣快トスル所ハ、人權擁護ニ關シテ重點ヲ置カレタ所デアリマス、私共國民ノ一人一人ハ、何物ニモ侵サレナイ尊嚴サ

ト、何人ニモ刺奪サレズ自由ヲ持ツテ居ルコトハ今更論ズルマデモナイコトデアリマス、今日マデ我々國民ハ、其ノ尊嚴ト自由ニ關シテハ殆ト何等ノ保障ガナカッタノデアリマス、例ヘバ現行犯ヲ犯サナイ者ニ致シマシテモ、舉動不審デアルトカ、疑フベキ箇所アリトシテ、司法官憲ノ發給シタ勾引狀モナク、隨時隨所ニ逮捕監禁サレ、何等ノ取調モナク數日或ハ數箇月ノ間勾留所ニ放置セラレタ状態デアリマス、又「レジデンス・イブキヤッスル」、即チ「住宅ハ是レ城廓ナリ」ト云フ原則ヲ無視シテ、司法官憲ノ正當ニ發給サレタ家宅搜索狀モ呈示致シマセズ、監禁、或ハ檢察官ノ欲スル儘家宅ニ侵入シテ敢テ怪マナカッタノデアリマス、斯クノ如キハ實ニ法治國ニアルマジキ專制政治ノ致ス所デアツタノデアリマス、然ルニ本章案第三章第二十八條ニ於キマシテ「何人も、法律の定める手續によらなければ、その生命若しくは自由を奪はれ、又はその他の刑罰を科せられない」、又其ノ第三十條ニハ「何人も、現行犯として逮捕される場合を除いては、権限を有する司法官憲が發

し、且つ理由となつてゐる犯罪を明示する令狀によらなければ、逮捕されない。」「斯ウ云フコトハ條項ニ依リマシテ、我々國民ノ自由ト尊嚴ヲ保障スルコトニナツタノデアリマス、又警察地方官憲ノ民主化ヲ之ニ依ツテ實現スルコトニナツタノデアリマス、恰モ米國憲法修正第十四條ニ於ケル「ノー・バーソン・ジャル・ビー・デブライヴ・ライフリバーテイ・オー・プロバティ・ウイズアウト・デュー・プロセス・オブ・ロー」其ノ「アメリカ憲法ノ重要ナル條項ニ該當致シテ居ルノデアリマス(英語デヤツテ下サイ)」「グレイツ」ト呼ブ者アリ)併シナガラ令狀ヲ發給シ、逮捕スルニ至ツタ理由ハ、必ズシモ正當ナリト斷言シ難イ場合モアルノデアリマス、故意ニ又ハ惡意ヲ以テ其ノ逮捕スベキ理由ヲ捏ツテ上ゲタニシテモ、或ハ誤ラレル情報ニ依リ、或ハ粗瀆ナル、不正確ナル調査ニ依ツテ、無辜ノ人、何等ノ罪ヲ犯サザル人ヲ逮捕シナイトモ限ラナイノデアリマス、斯カル場合ニ於キマシテハ、更ニ調査シ、審査スル時ノ制限ヲ加ヘテ、或ハ二十四時間デアルトカ、或ハ四十八時間以内ニ的確ニ再ビ調査致シマシテ、釋放スベキ者ハ迅速ニ之ヲ釋放スル、サウシテ必要以外ニハ良民ヲ監禁シナイト云フ、人權尊重ノ成文ガナケレバナラナイト本員ハ確信スルモノデアリマス(ヒヤノヒヤ米國ニ於テハ「リット・オブ・ヘビヤ

ス・コーパス」人身保護律ト稱シテ、不法監禁ヲシタ人乃至官憲當局ヲ糾彈彈劾スル法律ガアルノデアリマス、帝國憲法ニ於キマシテモ、更ニ人身保護律ノ精神ト法理ヲ條項ノ一ツトシテ挿入スル必要ガアルト信ズルノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ、金森國務大臣及ビ木村司法大臣ノ御見解ハ如何カ、御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、又同第二十九條ニハ「何人も、裁判所において裁判を受ける權利を奪はれない。」ト云フ規定ガアリマスルガ、如何ナル裁判ヲ受ケルカト云フ權利ニ付テハ規定セラレテ居ナイノデアリマス、米國憲法修正第六條ニハ、何人モ陪審官ニ依リ裁判ヲ拒否スルコトガ出來ナイ、許容サレナイ、何人モ陪審官ニ依ツテ裁判サレル權利ヲ持ツテ居ルト云フコトガ、明カニ其ノ憲法ノ修正第六條ニ規定セラレテ居リマスルガ、凡ソ民主主義ノ特徵ト致シマシテハ、普通選舉並ニ陪審制度ト云フモノハ、特ニ強調サレナケレバナラスノデアリマス、米國ニ於キマシテハ、遠ク「デヤックソン」大統領時代ニ於キマシテ、此ノ普通選舉並ニ陪審制度ト云フモノガ實施サレタノデアリマス、御承知ノ如ク陪審官ハ十二人ノ各階級ノ公民ニ依ツテ構成シテ、即チ人民ノ代表者ト致シマシテ、時代ト其ノ環境ニ依ツテ法律ヲ改正セントスル場合ニハ、人民ノ輿論ト公正ナル判斷ニ依ツテ、公平妥當ナル裁判ヲスル、民主主

昭和二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

義的ノ司法機關トシテ缺クベカラザルモノデアリマス、此ノ制度ヲ條文化シテ憲法ニ挿入スル用意アリヤ否ヤ、木村司法大臣並ニ金森國務大臣ノ御意見ヲ併セテ伺ヒタイト存ズルモノデアリマス

第二ニ私ハ文官任用令ニ付テ關係當局ニ質問申上ゲタイノデアリマス、第十三條ニ「すべて國民は、法の下に平等であつて、人種、信條、性別、社會的身分又は門地により政治的、經濟的又は社會的關係において、差別を受けない。」又第二項ニ「華族その他の貴族の制度は、これを認めない。」ト規定シテアリマスルガ、是ハ民主主義ノ基本的觀念デアアル、總テ人ガ平等デアアル、法ノ下ニハ一切平等デアアルト云フ

原理カラ來タモノト察シマスルガ、然ラバ我が日本臣民ハ平等ニ官吏トナル所ノ權利ヲ阻礙サレル理由ハナイ管デアリマス、併シナガラ明治以來文官任用令ナルモノガアリマシテ、文官高等試験ニ登第シナケレバ文官ニナラズ、ガ出來ナイト云フヤウナコトデアリマス、又

外交官試験、判檢事試験ニ登第シナケレバ、外交官タリ、判檢事タリ得ナイノデアリマス、米國ニ例ヲ取リマシテ、米國ニ於テハ斯クノ如キ制度ハナイ、苟クモ識見高邁ニシテ人格アリ才幹豐富ナル者ハ、民間ノ人ト雖モ機會アル

毎ニ文官タリ、外交官タリ得ルノデアリマス、又辯護士ニ關シテハ、其ノ資格ハ制限サレルノデアリマスガ、判檢事試験

驗ト云フモノハナク、辯護士トシテ才幹アリ識見ノ秀デタ者ハ、人民ノ投票ニ依ツテ、或ハ大統領ノ授權ニ依リマシテ、裁判官タリ、檢事タリ得ルノデアリマス、固ヨリ官位ニモ有爲ノ人物モアリマセウ、併シ民間ニモ適材ガアル管デアリマス、政府ニ於テハ此ノ際文官任用令ヲ撤廢シ、廣ク人材ヲ登用スル意味ニ於キマシテ、所謂官位ナ

ルモノヲ認メナイト云フ條項ヲ挿入スル用意アリヤ否ヤト云フコトヲ御質問シタイノデアリマス

又是ハ第六章ノ司法ノ部デアリマスガ、序デナガラ御尋ネシタイノデアリマス、第七十五條ニ「最高裁判所は、法律の定める負數の裁判官でこれを構成し、その裁判官は、すべて内閣でこれを任命し、法律の定める年齢に達した時に退官する。」ト云フノデアリマスガ、定年制度ト云フモノハ弊害アツ

テ一利ナシト本員ハ信ズルモノデアリマス、七十歳ニシテ尙ホ頭腦明晰ナ人モアレバ、四十歳ニシテ既ニ老朽ニ入ツタ人モアルノデアリマシテ、其ノ人ノ氣力、氣魄ノ如何ニ依ツテ能力ニ差ガ生ズルモノデアリマス、獨リ裁判官ノミナラズ、大學教授、或ハ其ノ他ノ

官吏ニ致シマシテモ、元氣旺盛、頭腦明晰ナル者ハ、年ノ如何ニ拘ラズ、經驗知識ガ廣メラレル、サウ云フ定年ニナツテ退官スルノガ惜シト云フヤウナ人材ヲ退官セシメルト云フコトハ甚ダ不幸デアリマス、デアリマスカラ、是

モ定年云々ト云フコトヲ抹殺致シマシテ、年齢ハ相應ニ重ネテモ、其ノ氣魄其ノ頭腦ガ明晰デアリ、而モ公正妥當ナル精神ヲ持ツテ居ルヤウナ裁判官、或ハ大學教授、或ハ文官ハ、年齢ニ拘ラズ其ノ職ニ留マルト云フヤウナ成文ヲ、其ノ條文ニ挿入セラレル用意アリヤ否ヤヲ關係當局ニ御尋ネ致シタイノデアリマス

第三ニ私ハ何故ニ現時最モ進歩セル社會政策ト云フベキ身分保障法、生活保障法ノ條文ヲ此ノ憲法草案ニ明確ニ規定シナイカト云フコトヲ疑フノデアリマス、昨日森代議士ノ質問ニ對シテ河倉厚生大臣ノ御答辯ガアリマシタ

ガ、私ハ聊カ異ナル觀點カラ電ネテ河倉厚生大臣ノ御高見ヲ承リタイト思フノデアリマス、第二十三條ニ「法律はすべての生活部面について、社會の福祉、生活の保障及び公衆衛生の向上及び増進のために立案されなければならない。」ト規定シテアリマスルガ、是ハ甚ダ漠然トシテ、其ノ實質ヲ捕捉スル

ニ苦シムモノデアリマス、又此ノ條項ニ關スル厚生大臣ノ御答辯モ、單ニ御希望ト將來ノ抱負ヲ御述ベニナツタノニ過ギナイノデアリマシテ、聊カモ具體的ノ構想ヲ御發表ニナツタヤウナコトハナイノデアリマス、近時英國ニ於テモ、米國ニ於テモ、社會ノ福祉、生活ノ保障ニ關スル法律ニハ最モ重點ヲ置カレマシテ、明確ニ法文化シテ居

ルノデアリマス、即チ米國ノ「ソージヤル・セキユリテイ・ロー」或ハ「ウァーキングマンズ・コンベンション・ロー」ト云フモノガアリマスガ、下級官吏、公吏或ハ傭人ト云フモノハ、此ノ「ソージヤル・セキユリテイ・ロー」ニ依ツテ、其ノ生活ヲ保障サレテ居ルノデアリマス、例ヘバ公吏ニシテモ、或ハ個人ノ使用人ニシテモ、其ノ月給ノ幾分ヲ保險ノ掛金ニ致シマシテ、保險ニ加入スルノデアリマス、又使用

者、傭主ノ方ニ於テシテモ、其ノ傭人ノ月給ノ金額ニ準ジマシテ、保險ニ掛金トシテ支拂フノデアリマス、又傭人ハレタル人ト致シマシテモ、其ノ月給ヨリ拂フノデアリマシテ、疾病ノ爲ニ働クコトヲ出來ナイ、或ハ又失業ヲシタ場合ハ、再ビ就職スルマデノ間、月給ノ七割位ノ金額ヲ保險會社ヨリ支拂フ受ケテ、生活ノ保障ヲ得ルノデアリマス「ウァーキングマンズ・コンベンション・ロー」ニ致シマシテモ、工場ノ持主、又ハ二人以上ノ傭人ヲ使用スル人ハ、必ズ其ノ使用人ニ對シテ保險ニ加入シ、若シクハ傭人ガ從業中不慮ノ怪我ヲ致シマシタ場合ニハ、保險會社ニ於テ醫師ノ治療代ヲ支拂フノミナラズ、休業中ノ生活ヲ保障スルノデアリ

マス、若シクハ不具者トナリマシタ場合、働キニ堪ヘザル場合、サウ云フ場合ニハ、其ノ生活ヲ生涯ヲ通ジテ保障スル爲ニ、月給ノ七割位ノ金額ヲ支拂フテ居ルノデアリマス、又老人デアルトカ、未亡人デアルトカ、困窮者ニ對シテハ、

ソレハ、生活ヲ保障スル法ガアルノデアリマスガ、斯クノ如キ法律ハ、具體化シテ憲法上與ヘラレタル當然ノ權利トシテ主張シ得ル的確ナル條文ヲ挿入スル必要ガナイカト思フノデアリマスルガ、政府當局ノ御意見ハ如何カ、特ニ河倉厚生大臣ノ御意見ヲ承リタイトデアリマス

第四ニ私ハ財閥ノ事業獨占ヲ阻止スル法文ヲ此ノ憲法草案ニ挿入スルコトヲ必要ト認メルモノデアリマス、政府ニ果シテ其ノ用意アリヤ否ヤ質問申上ゲタイノデアリマス、第二十七條三財產權ハ、これを侵してはならない。」トアリマスガ、私ハ財產權ヲ認メナイ所ニ、眞ニ國家ノ繁榮ヲ期待スルコトハ出來ナイト信ズルモノデアリマスガ、

又先日森代議士ノ質問演說ニ關聯致シマシテ、幣原國務大臣ノ御發表ニナツタ御意見ニハ共鳴スルモノデアリマスガ、併シ歴大ナル資本ヲ有スル財閥ガ各種ノ事業ヲ獨占スルコトハ、民主主義政治ノ實行ニ大ナル障礙ヲ來スモノデアリマス、ハナイカト信ズルモノデアリマス、資本家ガ其ノ歴大ナル資本ニ任セテ、到ル處ニ連鎖店又ハ支店ヲ設立致シマシテ、事業ノ獨占、即チ「モノポライ」ヲ斷行スル場合ニハ、新大ナル事業ヲ企圖スル者ニ對シテ何等ノ機會ヲ與ヘナイコトニナルノデアリマス、經濟的ノ專制制度ガ實施サレル虞ガアルノデアリマスカラ、米國ニ於キマシテハ十數年以前ニ、「シャーマン・アンダタイトラ

スト・ローナル法律ガ、「イリノイ」州選出議員「シャーマン」氏ノ提案ニ依リマシテ法律トナリマシテ、何人モ機會均等ノ趣意ニ基キ好成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、政府ニ於カレマシテハ、此ノ種ノ法文ヲ憲法ノ條文ニ挿入スル意思アリヤ否ヤ、特ニ幣原國務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

私ハ第五ニ本章第四章ノ國會ニ關シテ極メテ簡單ニ質問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、ソレハ參議院ノ性格ニ關シテデアリマス、第三十八條ニ「國會ハ、衆議院及び參議院ノ兩議院でこれを構成スル」ト規定シテアリマス、參議院ノ構成及ビ其ノ機能ニ關シテハ何等明示スル所ガナイノデアリマス、米國ニ於テハ、上院ハ各州ヨリ二名ツ、ノ上院議員ヲ公選スルト云フ明文ガ憲法第一條ニ規定サレテ居ルノデアリマス、ドンナニ人口ノ多イ州、例ヘバ「ニューヨーク」デアルトカ、或ハ「ワイラデルフィア」デアルトカ、「オハイオ」デアルトカ云フヤウナ人口ノ多イ州カラモ、二人ツ、ノ上院議員、ドンナニ人口ノ少イ州、例ヘバ西海岸ノ「モンタナ」州デアルトカ、或ハ「ワイオミング」州デアルトカ云フヤウナ人口ノ稀薄ナ州カラモヤハリ二人ツ、ノ議員ガ選出サレテ居ルノデアリマスガ、下院ニ於テハ人口ノ割合ニ準ジテ代議士ヲ選出シテ居ルノデアリマス、例ヘバ「ニューハンプシャー」トカ

「ニュージャージー」トカ云フ州ハ、極メテ地域ガ狭小デアリマス、人口ガ多イカラ澤山ノ代議士ガ選出サレテ居ルノデアリマス、三萬人ニ一人ノ代議士ト云フヤウナ割合デアリマス、其ノ地域ハ廣イガ、人口ノ少イ「モンタナ」州トカ、「ダコタ」州トカ云フヤウナ所カラハ、極メテ少イ代議士ガ選出サレテ居ルノデアリマス、是ハ人口ノ多イ州ガ發言權ガ多イ、人口ノ多イ所カラハ澤山ノ代議士ガ選出サレテ居ルノデアリマス、是ガ人情デアリマス、河川ノ工事ニ關シテモ、或ハ鐵道ニ關シテモ、或ハ其ノ他ノ問題ニ關シテモ、自分ノ選出サレタ州ノ方ノ便宜ヲ圖ルト云フヤウナ傾向ガアリマス、ソコデ之ヲ「チエック・バランス」スル、所謂サウ云フヤウナ不公平ナコトノナイヤウニ、人口ノ少イ州カラモ同ジク二人ツ、ノ「セネター」上院議員、選出致シテ、サウ云フ不公平ナ處置ガナイヤウニ二院制度ヲ採用シテ居ルノデアリマス、果シテ帝國憲法草案ニ規定サレタ參議院ナルモノハ如何ナル性格ヲ持ツテ居ルカ、如何ナル組織デアるか、「アメリカ」ノ上院ノヤウナ組織ノモノデアるか否ヤト云フコトニ關シマシテ、金森國務大臣ニ御尋ネシタイト思フノデアリマス

又私ハ第六項トシテ、所謂婚姻、夫婦同等ノ權利ニ關シテ御尋ネシタイト思フノデアリマス、第二十二條ニ「婚姻ハ、兩性ノ合意ノみに基いて成立シ、夫婦ガ同等ノ權利ヲ有スルことを基本トシテ、相互ノ協力により、維持されなければならぬ」トアリマス、既ニ日本ニ於キマンテモ女子參政權ガ許サレマシテ、本院ニ於テモ多數ノ婦人代議士ガ御出席ニナツテ居ルノデアリマス、海ニ憲政ノ進歩トシテ欣快ニ堪ヘナイノデアリマス、由來日本ニ於テハ、婦人ハ三界ニ家ナシト言ハレテ居ル、娘トシテハ嫁ニ行クベク訓練ヲ與ヘラレ、嫁シテハ夫ニ從順タリ、始テ絕對服從ト云フベキ境遇ニアツタノデアリマスガ、假令其等相和シマシテモ、相愛ノ仲ニアツテモ、姑ニ氣ニ入ラレナケレバ離婚サレル、夫婦共稼ギ致シマシテ漸ク成功スレバ、夫ハ他ニ妻ヲ著ヘル、甚ダシキニ至ツテハ、子供ガアツテモ三下り半ト云フ、離婚ヲ強要サレルト云フヤウナ現狀デアツタノデアリマス、然ルニ憲法草案ノ本條ヲ見ルニ及ンデ、日本婦人ノ爲ニ洵ニ慶祝ニ堪ヘヌ次第デアリマス、御參考マデニ申上ゲマス、米國ニ於テハ、離婚ニ關シテハ即チ五ツノ條項ガアルノデアリマス、第一ニ其ノ理由トシテハ姦淫スル、夫ナラザル男、妻ナラザル婦人ト關係シタ場合ハ、是ハ離婚ノ一ツノ理由トナリマス、第二ニハ扶養ノ義務ヲ果サナイ者、第三ニハ「フィエカル・ディフェクシオン」、捨テテ顧ミナイ、亭主ガ何處

カヘ行ツテシマツタ、妻ガ行ツテシマツタ、是ハ離婚ノ第三ノ理由ニナルノデアリマス、第四ニハ虐待「クルエルティ」、此ノ虐待ト云フコトハ、精神的ニモ物質的ニモ虐待デアル、毆打、蹴ルト云フコトハ無論デアリマスガ、例ヘバ妻君ノ前デ、奥サンノ前デ、俺ガ若イ時ニハ女ニ好カレテ色々ナ申込ガアツタ、オ前ナドヨリ綺麗ナ女房ヲ持ツコトガ出来タト云フヤウナコト、言ツテモ、是ハ「クルエルティ」、精神的ニ虐待シタト云フノデアリマス、理由ニナリマス、第五番目ニハ「ヤハリ」ト云フ「カール・ディフェクシオン」、生理的ニ缺陷ガアル、斯ウ云フヤウナ理由ニ依ツテノ離婚ガ成立スルノデアリマス、離婚ガ成立シタ場合ニハ、ソレノ扶養料ト云フモノガアリマス、他ニ結婚スルマデハ其ノ生活ガ保障サレルノデアリマス、或ハ財産ニ關シテモ、財産ヲ分配スル規定ガアルノデアリマスガ、斯クノ如キコトハ、又婦人ノ權利ヲ擁護スル上ニ於テ、最も重要ナ條項トシテ憲法ノ條文ニ挿入スル御考ヘアリヤ否ヤヲ御尋ネシタイノデアリマス

最後ニ私ハ吉田總理大臣ニ御尋ネ致シタイノデアリマスガ、吉田總理大臣ガ屢々ナサレマシタ御答辯ヲ綜合シテ見マスレバ、本憲法草案ハ「ポツダム」宣言ヲ受諾シタ日本トシテ、諸國民トノ間ニ平和協力ヲ成立センガ爲ノ改正草案ノ如ク説明サレタヤウニ了解スルノデアリマス、諸國民トノ間ニ平和協力ヲ成立サスベキハ最も重要ナコトデアリマシテ、新日本ノ辿ルベキ道程ハ、平和日本、正義ノ日本デアラネバナラヌト云フコトヲ私ハ固ク信ズルモノデアリマス、併シテ私共ハ我が日本ガ今日ニ於テ斯カル憲法ヲ必要トシ、從來ノ欽定憲法ヲ改正スベキ自然ノ段階ニアルモノト信ズルノデアリマス、過去二千六百年以來日本ノ歴史ヲ檢討スレバ、日本人ハ平和ヲ愛好シ、正義ノ國、正義人道ト云フモノヲ重んズル國民デアルト云フコトヲ立證サレルノデアリマス、歴代ノ天皇ハ民ト共ニアリト仰シヤラレマシテ、博愛仁慈、公正デアラセラレ、我々國民代々ノ崇敬ノ象徴デアラタノデアリマスガ、唯武家政治ノ爲ニ、或ハ幕府デアルトカサウ云フモノノ存在スル爲ニ誤ラレタモノデアリマシテ、今回ノ憲法草案ニ織込マレタ如ク、人權ノ擁護、一般國民ノ福祉ヲ重點トスル憲法ハ、日本國民全部ノ總意デアツテ、自發的ニ津々浦々ヨリ盛上ル國民ノ聲デアラネバナラスノデアリマス、隨テ其ノ憲章ノ何レノ條項モ、日本ノ歴史、傳統、風俗ノ背景ニ依ツテ、日本人自然ノ要求トスル自由ト正義、而モ平和ヲ愛好スル強大ナル人民ノ叫ビデアラネバナラスノデアリマス、憲法ハ國家ノ最高ノ法デアル、即チ「シェヘリアル・ロー・オブ・ランド」デアリマスガ、之ニ相拮抗スル法律、今後制定セラ

ベキ諸法律ニシテ此ノ憲法ト相矛盾シタル法律ハ、總テ無効トナルノデアリマス、隨テ憲法ハ國民ノ信念、情操ヲ背景トシテ大文字トナラナケレバナラナイノデアリマス、其ノ構想ニ於キマシテモ、其ノ用語ニ於キマシテモ、讀者ヲシテ燃ヲ正サシメ、嚴肅ノ感ヲ與ヘル所ノ大文字デアラネバナラスト信ズルモノデアリマス、米國ニ於キマシテハ、大統領、大審院長ヲ初メ、官吏ハ其ノ職ニ就クニ當リマシテハ、憲法ヲ擁護スルト云フ宣誓式ヲ行フ例トスルノデアリマスガ、私ハ本草案ガ、既ニ北、鈴木兩閣僚ニ依ツテ指摘サレタ如ク、甚ダ翻譯ノ臭ヒガ濃厚デアルト思フノデアリマス、我が子孫ガ永遠ニ大憲章トシテ、正義ト平和、公正ノ大文字トシテ、崇敬ノ念ヲ以テ愛讀スルニ足ルダケノ立派日本大文字ニ改メラレンコトヲ希望シテ已マヌモノデアリマス、吉田總理大臣ノ御見解ヲ御伺ヒシタイモノデアリマス、以上ヲ以テ私ノ質問演説ヲ終リマス(拍手)

テ、是ガ人身保護律ノ根本規定ヲナスモノデアリ、ソレ以上ノコトハ適當ナル法律ヲ以テ具體化サレルコトヲ以テ總旨ト致シテ居リマス

〔國務大臣金森徳次郎君登壇〕

○國務大臣(金森徳次郎君) 安部君ノ御質問ニ對シテ御答ヘテ致シマス、人身保護律ノ如キモノヲ憲法ニ明白ニ規定スル必要ハナイカト云フ御尋ネニ對シマシテハ、憲法第三十一條ニ於キマシテ、其ノ後段ニ「要求があれば、その理由は、直ちに本人及びその辯護人の出席する公開の法廷で示されなければならない。」ト云フ規定ガアリマシ

ニ付キマシテハ、行政官ノ身分ヲ保障致シマスルコトハ固ヨリ重大デアアリマスルケレドモ、之ニ對シマシテハ、行キ過ギズ、又行キ足ラザルコトナク、適切ナル制度ヲ設ケナケレバナリマセ

次ニ陪審問題ノ點ニ付キマシテハ、憲法ニハ之ニ對シマスル特別ノ規定ハゴザイマセスガ、民主政治ノ趣旨ニ則リマシテ、必要ナル規定ハ法律ヲ以テ定メラレ、現在ノ制度ヲ完備スルコトハ憲法ノ毫モ嫌ツテ居ル所デアリマセス、詳細ハ司法大臣ヨリ御答辯下サルコトト存ジテ居リマス

第三ニハ文官任用令等ヲ撤廢シテ、色々ノ任用ニ關スル障礙ヲ除イタナラバ宜イノデハナイカ、之ヲ憲法ニ定ムルノガ宜イデハナイカト云フ御趣旨デアリマシタ、此ノ憲法ノ明示致シマスルガ如ク、國民ハ法律ノ下ニ於テ平等デアリマスルガ故ニ、任用ノ關係ニ於キマシテモ固ヨリ平等ナケレバナリマセス、唯任用ニ付キマシテハ、文官ニ必要ナル能力ト、又之ニ必要ナル道徳性ヲ條件トシナケレバナリマセスノ

用制度ヲ樹立スベキモノデアリ、現ニ不合理ナル點ハ漸次除カレテ居ルノデアリマシテ、今後トモ御趣旨ニ從ツテ必要ナル規定ヲ設ケル考デアリマス

次ニ第七十五條ニ關シマシテ、裁判官ノコトハ司法大臣カラ御説明ニナラウカト存ジマスルガ、行政官ノ點

ニ付キマシテハ、行政官ノ身分ヲ保障致シマスルコトハ固ヨリ重大デアアリマスルケレドモ、之ニ對シマシテハ、行キ過ギズ、又行キ足ラザルコトナク、適切ナル制度ヲ設ケナケレバナリマセ

次ニ生活保障ノ點ヲ御話ニナリマシタガ、是ハ厚生大臣カラ御答ヘニナルコトト思ツテ居リマス、ソレカラ財閥ノ事業獨占等ヲ防止致シマスル爲ニ、米國ニアル所ノ「シャーマン・ロー」ノ如キ趣旨ノコトヲ憲法中ニ規定スベキデハナイカト云フ御趣旨デアリマシタ

ガ、斯クノ如キ個々ノ事項ハ憲法ニ直接定メナイデ、法律ヲ以テ適切有效ナル規定ヲ必要ニ應ジテ設ケルコトガ妥當ト思ツテ居リマスルシ、其ノ方向ニ付テモ研究ヲ進メタイト考ヘテ居リマス

次ニ參議院ノ構成ニ付テ御尋ネニナリマシタガ、米國ト違ヒマシテ、日本ハ合衆國デアリマセヌ爲ニ、米國トハ異ナル幾多ノ特色ガ參議院ニ付テ現ハレテ來ルコトト思ヒマス(拍手) 權能ノ主眼トスル所ハ、議事ノ慎重ヲ期スルト云フコトトゴザイマス、サウシテ其ノ參議院ノ定數、其ノ議員ニ付テノ選舉

區、投票方法、選舉權、被選舉格ト云フガ如キモノニ付キマシテハ、程遠カラヌ内ニ具體化シタル法律案ヲ定メマシテ、議會ハ御協賛ヲ仰ク時期ガアリ得ルト云フヨリモ、仰答アルト考ヘテ居リマス

ハ日本ノ國民性ニ果シテ適當デアルカドウカト云フコトヲ再檢討シナケレバナラスト思ヒマス、又陪審ガ假ニ復活サレタト致シマシテ、非常ニ慮大ナク

尚ホ最後ニ仰セニナリマシタ、此ノ憲法ノ文字ノ用語ガ燃ヲ正サシムルヤウナモノデアナケレバナラス、此ノ御説ハ最モ傾聴致ス所デアリマスガ、併シ他ノ一面カラ申シマス、我々ノ憲法ハ國民ノ何人モ親シミ易ク、又理解シ易キモノデアナケレバナリマセヌノデ、其ノ趣旨カラ申シマシテ、憲法ノ草案ニハ相當ノ意ヲ文字ノ上ニ用ヒテ居ルト云フコトヲ御答ヘシテ置キタイト存

ゾレカラ第三ノ判事ノ定年制ノ問題デアリマス、御承知ノ通り裁判官ハ其ノ職務ノ性質上、其ノ身分ヲ保障セラ

ル、コトハ言ヲ俟タナイノデアリマス、隨テ濫リニ之ヲ罷免スルガ如キコトノナイヤウニシナケレバナラスト存

ジマス、併シナガラ之ヲ終身官トスルニ於キマシテハ、又老朽無能ノ人ガ此處ニ集マル處ガアルノデアリマス、是ハ慎マナケレバナラスト思ヒマス、隨ヒマシテ一定ノ年限ヲ保障シテ、其ノ年限ニ達スレバ退官スルコトヲ云フコトガ最モ適當デアラウカト存ズルノデアリマス、若朽無能ノ者ニ付キマシテハ、七十四條ニ於テ之ヲ罷免スル規定ヲ設ケテ居リマスカラ、是デ十分運用ガ出來ルト存ジマス

第四ニ離婚後ノ女子ヲ扶養スル規定ヲ憲法草案ニ設ケタラドウカト云フコトデアリマスルガ、斯クノ如キハ憲法實施後ニ改訂セラルベキ民法ニ於テ十分ニ之ヲ規定スレバ其ノ點ハ足ルダラウト思ヒマス

〔國務大臣河合良成君登壇〕

○國務大臣(河合良成君) 只今草案第二十三條ノ生活保障ノコトニ付テ御尋ネニナリマシタガ、是ハ昨日モ本議場ニ於テ申上ケマシタ通りニ、只今ノ日本ノ情勢トシマシテハ、從來ノ生活保障ニ關シマスル各種ノ施設ノ外ニ、失業救済ト生活保護ト云フ二ツノ大キナ線ト問題ヲ處理シテ行キタイ、言葉ヲ換ヘマスト、「イギリス」ヤ「アメリカ」カ「ヤツテ居ルヤツナ風ニ、綜合的ニ生活保障ト云フ一ツノモノデ行クニハ、マダ準備モ時期モソコマデ参リマセヌデ、ソレデ應急的トシマシテ、失業救済ト生活保護ノ二ツノ線デ行キタイト云フ考ヘデ居リマス、サウシマシテ、其ノ生活保護ト云フ法律ハドウ云フ風ナ構想デアアルカト申シマス、是ハ何レ議會ニ提案致シマスル時ニ細カク説明致シマスルガ、大體ニ於テハ働ケナイ者、働ケナイ者、働ケナイ者、品行ノ悪クナイ者、サウ云フヤツナ條件ノ目標デ、サウ云フヤツナ人デドウシテモ生活ノ出來ヌ人ヲ助ケテ行クト云フ建前デアリマス、サウシ

テドウ云フ方法デアアルカト申シマス、生活ノ補助ガ第一デアリマシテ、醫療ノ扶助、生業ノ扶助、助産、葬祭等ニ扶助ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ其ノ金高ニ付キマシテハ、五人家族デ二百五十圓位ノ見當デ居リマシテ、六大都市ヲ初メ、其ノ他ノ都市ニモ及ボシテ行ク積リデアリマスガ、全國全般のニ及ベルカト云フコトニ付キマシテハ、今豫算ノ關係等ト脱ミ合セテ調査シテ居ル所デアリマス、金高ハ全體デ三十億ノ見込デ居リマス、尙ホ此ノ金ノ外ニ、食糧モ幾ラカハ無料デ供給出來ルト思ヒマス、「アメリカ」カラ入ツテ参リマスル六十數萬「トン」ノ中ノ幾ラカハ、斯ウ云フ生活保護ノ面ニ向ケラレル豫定ニナツテ居リマス、又斯ウ云フ風ニシテ扶助ヲ致シマスケレドモ、是デ扶助ヲ出シ切リト云フコトデナク、出來ルダケ之ニ職業ヲ與ヘ、生業ヲ與ヘルト云フ面ニ指導シテ行ク積リデ居リマシテ、授産場或ハ職業輔導ト云フ面ニ強力ニヤツテ行ク積リデ居リマス、大體右様ニ御承知ヲ願ヒタイ(拍手)

○安部俊吉君

○細田兼光君

大體ニ於キマシテ御答辯ニ満足スルモノデアリマス、本員ノ質問ハ之ヲ以テ打切りマス
〔細田兼光君登壇〕
○細田兼光君 私人質問ハ、私一人ノ責任ニ於テナサル、所デアリマシテ、俱樂部ノ意思ヲ代表シタモノデナ

イコトヲ、茲ニ明確ニ御断リヲ致シテ置キマス、質問シヨウト思ヒマスル問題ハ三ツゴザイマス、至極簡單ナモノデゴザイマスルガ、第一、第二ノ問題ハ金森國務大臣カラ、第三ノ問題ハ吉田總理大臣カラノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

第一ノ問題ハ、天皇ノ大權乃至拒否權ト、天皇ニ政治的責任ナシトスル、所謂天皇無責任ノ問題ノ觀念デアリマス、改正案ハ何處ニ此ノ天皇無責任ノ合理的ナ、實證的ナ、常識ヲ納得セシムル根據ヲ求メルカ、斯ウ云フ問題デアリマス、改正案ハ現行憲法ニ比ベマ

スレバ、多數ノ大權ヲ削除シテ居リマスルガ、尙ホソコニハ多クノ大權ヲ留保シテ居リマス、第七條ガ是レデアリマシテ、憲法ノ改正、法律ノ公布、國會ノ召集、衆議院ノ解散等デアリマス、是ニハ國務トアリマシテ、此ノ草案ハ國務ナル言葉ヲ小サク見セヨウトシテ居リマス、即チ第四條ニハ「天皇ハ、この憲法の定める國務のみを行ヒ、政治に關する權能を有しない」、斯ウ表明シテ居リマシテ、國務ナルモノヲ政治ニ關スル權能ト區別シテ居ルノデアリマス、デアリマスルガ、是ハ大權ト申スノニ相應シクナイコトハナイ大キナ權利デアリマス、國會ヲ召集スルトカシナイトカ、衆議院ヲ解散スルトカシナイトカ、「イギリス」ノ過去ニ於キマシモ、折角國會ヲ樹立シテモ、「キング」ガ之ヲ召集シナイト云フ

事實ガ起ツタ、國民ガ茲ニ學ツテ、國會ガ自然ニ自發的ニ開會セラレルト云フコトヲ圖ヒ取ツタト云フヤツナ事實ガ「イギリス」憲法發展史上ニアアルノデアリマス、大キナ權利デアリマス、過日社會黨ノ鈴木君ガ御引用ニナリマシタ「ニッポン・タイムズ」ニハ、此ノ國務ナル言葉ニ「フアンタシオン・オブ・ステーツ」ト云フ言葉ヲ當テテ居ルノデアリマス、現下ノ日本ノ特殊事情ノ下ニ於キマシテ、是等ノ譯語モ將來ノ憲法ノ解釋上重大ナル意義ヲ持ツト思ヒマスノデ、輕視致スコトハ出來

マセス、國務ト云ヒマシテモ、決シテ

國ノ一ツノ事務トハ解サレナイ大キナ大權デアリマス、問題ヲ明確ニ致シマス爲ニ、例ヲ法律ノ公布ニ取ツテ申シマスレバ、此ノ法律ヲ公布スルコトノ主體ハ誰カ、正ニ天皇デアリマス、天皇ハ内閣ノ助言ト承認トヲ與ヘル國務ヲ行フ、行フ主體ハ天皇デアリマス、内閣ハ單ニ助言ト承認トヲ與ヘルノミデアリマス、承認ハ天皇ノ行爲ノ後ニ來ルベキモノ、助言ハ何モ天皇ノ行爲ヲ強制スル力ハナイモノデアリマス、主體ハ正ニ天皇ニアリマス、又法律ノ公布ハ、現行憲法ニ依リマスレバ、議會ノ協贊、天皇ノ裁可、共ニ法律ニ效力アラシメル所ノ重大ナ一要素デアリマス、將來天皇ノ裁可ト云フコトハナクナリマセウガ、ヤハリ法律ノ公布ハ、法律ヲシテ效果アラシメル所ノ最後ノ鍵ヲ握ル重大ナ

行爲デアアルコトニハ變リハナイト解釋スベキデアリマス、故ニ是ハ如何ニ議會ガ法律ヲ通過致シマシテモ、之ヲ掘リ潰スト云フコトガ天皇ノ掌中ニ殘サレテ居ルモノ、斯ウ解釋致サケレバナリマセス、此ノ拒否權乃至大權ト、責任ナシトスル無責任ト云フコトハ、觀念上明カニ矛盾ナル問題デアリマス、將來トモ現下ノ政治形勢ヲ以テシマスレバ、隨分ト惡法ガ出テ参リマセウ、現ニ近ク勞務關係ノ調整法ナドト云フモノガ用意セラレテアルト云フコトヲ聞キマスルガ、勞働者ハ、是ハ勞働者ノ正當ナル權利ヲ剝奪スルモノデアリマシテ、舉ツテ反對ヲ叫ンデ居ルノデアリマス、天皇ハ此ノ勞働者ノ聲ヲ聽イテ、斷乎トシテ或ハ之ヲ掘リ潰スコトモ不可能デアリナイト解釋スベキデアリマス、掘リ潰スコトガ出來ルモノヲ掘リ潰サナイ、公布シタ、公布シタ以上ハ、其ノコトカラ起リマスル結果ノ責任カラ免レルト云フコトハ、甚ダ困難ナ問題デアリマス、公布ノ形式ニ於キマシテモ、恐ラクハ將來モ從來ノ通り、之ヲ公布セシム、御名御璽、國務大臣ノ副書、斯ウ云フ形式デ公布セラレルト思フノデアリマス、一般常識ニ依リマスレバ、印判ヲツイタコトニハ責任ガアル、私モ隨分盲目判ヲ押シマシタガ、印判ヲツイタコトニハ責任ヲ執ラナクテハナラヌ、是ガ常識デアリマス、ソレヲ無責任ト致シマスノハ、是ハ一片ノ法律ノ擬制デアリ

マス、「フイクション」ニ過ギナイ、常識ヲ納得セシムルモノデハアリマセ、現在ノ憲法ニハ餘程大キナ大權ガ天皇ニ屬セラレテ居リマス、問題ヲ明カニスル爲ニ例ヲ採リマス、例ハ戦争ノ開始、此ノ度ノ戦争ノ開始ニ當リマシテモ、事情ノ甚ダ困難デアツタトハ想像致シマス、デアリマスルガ、聞クガ如キ、「ボツダム」宣言受諾ノ際ニ於ケルガ如キ決斷ト勇氣ヲ以テナサレナラバ、或ハ是モ阻止出来タカモ知ナイ、サウシテ古今未嘗有ノ不名譽ト窮乏ト飢餓トカラ免レテ居ツタカモ知レナイ、斯ウ云フ理窟モ付ケラレル、或ハ彼ノ治安維持法、或ハ之ヲ死刑ニマデ改惡シマシタ緊急勅令、數萬ノ者ヲ引致勾留シ、數千ノ者ヲ長期ニ互ツテ投獄シテ、取返シノ付カナイ青春ト幸福トヲ蹂躪リ、多クノ者ヲ殘虐ナル拷問ノ裡ニ虐殺シタ此ノ治安維持法ノ暴虐ハ、終戦直前マデ續ケラレタ、尙ニ於テ平和ニ善良ニ町工場ヲ營ンデ居ツタ者ヲ、何ノ理由モ示スコトナク勾留所ニ打込ミ、日夜ヲ續ケテノ殘虐ナル拷問、氣息奄々、瀕死ノ状態ニ陥ツテ事面倒ト抛リ出シ、全身生傷ニ依ツテ覆ハレル、家人ハ才障者ヲ呼ンデ注射ヲスル、痛イ、彼ハ人事不省ノ中ニモ拷問ガ續ケラレテ居ルト幻想シ、モウ宜イデセウ、モウ宜イデセウ、モウソレ位デ宜イデセウ

〔何ヲ質問シテ居ルカ〕モウソレ位デ宜イヨト呼ビ其ノ他發言スル者多シ

○議員(議員三君) 靜肅ニ ○細道兼光君(續) 彼ハ遂ニ妻子ヲ窮乏ト悲歎ト貧困ノ裡ニ殘シテ息ヲ引取ツタノデアリマス

〔發言スル者多シ〕 ○議員(議員三君) 靜肅ニ ○細道兼光君(續) 是ハ私ノ親友、辯護士神道實次君ノ弟、神道久三君ノコトデアアルデアリマス、是等ノ殘虐モ、或ハ天皇ノ決意如何ニ依ツテハ避ケラレルコトガ出来タカモ知レナイト云フコトハ理窟デアリマス、此ノ責任ヲ追究スルカ、シナイカト云フコトハ別問題デアリマスガ、理窟ヲ押シテ行ケバサウ云フ理窟モ立タナイコトハナイ、理論上是等ノ責任ガ天皇ニマデ及ブコトヲ、其ノ途中ニ於テ、國務大臣ニ於テ、中斷シヨウト云フコトハ、中困難ナ問題デアリマス、天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラズト云フヤウニ憲法ニ書イテアルカラ、或ハ改正案ヲ以テスレバ、天皇ノ行爲ニハ内閣ノ助言ト承認トヲ必要トスル、内閣ガ其ノ責任ヲ負フト書イテアルカラ、ト云フヤウナ一片ノ文句ヲ以テ之ヲ解決スルコトハ困難デアリマス、ソノナコトハ法律ハ困難デアリマス、一片ノ子供騙シ學生ノ話デアリマス、三歳ノ童子ヲモ納ノ詭辯デアリマス、三歳ノ童子ヲモ納得セシメ合理性ヲ持ツテ居ナイノデアリマス、此ノ天皇ノ大權乃至拒否權、天皇ノ無答責ノ問題ハ觀念上明カニ矛盾シテ居ル問題デアアルガ、矛盾ノ

解決ハ、天皇ヲ完全ニ政治ノ國外ニ御立タセ申スカ、或ハ天皇ニ拒否權ナシトスルカ、何レカデナケレバ合理的解決ハ不可能デアルト私ハ思フノデアリマスルガ、果シテ政府、此ノ草案ノ中ノ何處カラ、一般常識ヲ納得セシムルニ足ル所ノ合理的ナ天皇無責任、無答責ノ根據ヲハツキリサセヨト致シマスルカ、御答ヘヨ御願ヒシタイト思フノデアリマス、

次ノ問題ハ非常ニ小サク見エル問題デアリマスルガ、貴族、皇族ニ關スル問題デアリマス、十三條ニ華族其ノ他ノ貴族ノ制度ハレヲ認メナイトアリマスガ、貴族トハ一體何デアアルカ、八條及ビ八十四條ニ皇室財産ト云フコトガ見エテ居リマスルカラ、之ニ依ルト皇族ト云、特別ノ門地、地位ガ存在スルト認メラレルノデアリマス、ソレガドノ範圍包含セラレルカハ別ニ效ニ觸レル必要ハナイノデアリマスガ、御答ヘ願ヒタイコトハ、皇族、選舉權ヲ持タルノカドウカ、更ニ進ンデ、天皇ハ選舉權ヲ持タルノカドウカト云フ點デアリマス、是非非常ニ小サイ問題デ、委員會デアレト云フ聲モ飛バナイトモ限ラナイノデアリマスガ、私ハ是ハ大キナ根本問題ヲ一刀兩斷ニ斷テ切ルコトノ出来ル鋭イ「メス」ダト思ツテ居ルノデアリマス、即チ先日カラ問題ニナツテ居リマシタ主權ノ所在、之ヲ明確ナラシムル所ノ鍵デア

ル、主權ノ存在問題ヲ全ク別ノ面カラ衝ク所ノモノデアルト思ツテ居リマス、先日來主權ノ所在ニ付ニシテ屢々質問ガ繰返サレ、政府ヨリハ再三天皇ヲ含ム國民全體ト云フ御答ヘガアツタノデアリマス、繰返サレタノデアリマス、ソレハ問題ノ重大性ト政府ノ答辯ガ曖昧デアアルカラ繰返サレタノデアリマス、言葉ハモウハツキリ私モ覺エマシタ、天皇ヲ含ム國民全體、言葉ハ非非常ニハツキリシテ居リマスガ、内容ハ依然トシテ割切レナイノデアリマス、即チ天皇ヲ含ム國民全體ト云フハ、元來國民ノ外ニ立ツテ居ラレル天皇ヲ此ノ際含シタ國民全體ト云フ意味デアアルカ、又ハ元々初メカラ國民ノ中ニ含ンデ天皇カアラレルノカ、是デアリマス、ソコデ此ノ問題ヲ解決スル鍵トシテ、此ノ問題ヲ提出シタノデアリマスガ、即チ第四十條ニ、兩議院ノ議員及ビ其ノ選舉人ノ資格ハ、人種ヤ或ハ財貨、門地ニ依ツテ差別シテハナラナイトアリマスカラ、此ノ皇族ナドモ確カニ一ツノ門地デアルト思フノデアリマス、國民デアアル限リ差別ハナイ、即チ二十歳以上デアアル者ハ、一人トシテ選舉權ヲ持タナイ者ハ居ナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、天皇ニ選舉權ナシト致シマスナラバ、ソレハ國民デハナインノデ、國民ノ外ニ立ツテ居ラレルデアリマス、天皇ニ選舉權アリトスルナラバ、ソレハ國民ノ中ノ御一人デア

ルノデアリマス、皇族ハ選舉權ヲ持タレルト私モ解釋致スノガ至當ダト思ヒマスガ、問題ハ此ノ天皇デアアルノデアリマス、御答辯ハ將來ノ憲法解釋上重大意義ヲ持ツト思ヒマスルカラ、覺悟ヲ決メテ御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマス(拍手)

第三ハ吉田總理大臣ニ御尋ね致スノデアリマスルガ、最近閣下所ニ依ルト、貴族院ヲ中心トシテ此ノ改正案ヲ、天皇ノ大權ヲ擴大スルト云フヤウナコトヲ中心ニ保守化シヨウト云フ空氣ガ動イテ居ルト云フコトデアアルノデアリマス、洵ニ以テノ外ノ心算違ヒデアルト思フノデアリマス(拍手) 元來今日日本ガ民主化シナケレバカラスト云フコトヲ、如何ナル意義ニ於テ擱ンデ居ラレルカ、問題ハ是デアリマス、民主化シナケレバカラスト云フ、其ノ必要性何處カラ一體感ジテ居ラレルノカ、今日日本、如何ナル状態ニアルカ、古今未嘗有ノ屈辱、不名譽、飢餓ト窮乏ノ下ニ國民ハ喘イデ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、當面ノ重大問題ハ、如何ニシテ早ク此ノ不名譽ト飢餓ト窮乏ノ深淵カラ脱ケ出サウカト云フ所ニアル等デナケレバナラス

シタラ宜イカ、結論の三言ヒマスレバ、早ク日本ヲ民主化シテ、民主的態勢ヲ整ヘ、民主的政治ヲ確立シテ、世界ノ平和ト文化ト幸福ニ寄與シ得ルモノダト云フ實質ヲ確立シテ、サウシテ世界ノ各國、全人類カラ尊敬ト友愛ニ迎ヘラレテ、早ク平等ノ國際地位ニ立ツ、

其ノコトヲ獲得シ、早ク自由ナ貿易ノ出來ル仲間入リヲスル、其ノ地位ヲ早ク獲得スル、是レ以外ニ根本的ナ解決ハナイ、勿論當面ノ色々ナ對策モ講ジナケレバナリマスマイガ、根本的ニハ是レ以外ニハナイ、産業ハ破壞サレタ、此ノ産業ヲ回復シ、國民生活ヲ安定スル、ソコニ必要ナ根本的ナ資材ヤ何カ十分ニ日本ニアルカ、食糧ダツテ毎年輸入シタデハナイカ、カツ／＼アルノハ石炭ダ、石油ニ致シマシテモ棉ニ致シマシテモ、「ゴム」ニ致シマシテモ、煤鑛石ニ致シマシテモ、何一ツトシテ十分ニ日本國民ヲ養ヒ得ルモノヲ内地生産シテハ居ナイノダ、早ク民主化シテ、早ク平等ノ國際地位ヲ取ル、之ニハ早ク日本ヲ民主化シナケレバナラス、ダカラ日本ノ民主化ト云フ問題ハ、是ハ國民ガ飢餓窮乏ノ中カラ、其ノ救ヒヲ求メル爲ニ叫ンデ居ル所ノ絶叫デアアルデアリマス(拍手)ソレヲ唯「ボツダム」宣言ノ爲ニ已ムヲ得ズト云フヤウナ、強制セラレタ厭ヤ／＼の態度デヤラレルカラ、斯ウシタ主權ノ所在ノ不明確、或ハダラシタ前文ト云フヤウナコトガ出來テ來ル、民主政治ヲ獲得致シマシタ「フランス」ニシテモ、「イギリス」ニシテモ、「アメリカ」ニシテモ、少々ノ憲法ノ文句ナンカハドウダツテ宜イ、事實ガ確定シテ居ル、固ヒ取ツタノダ、血ヲ流シテ聞ヒ取ツタ、ダカラソコニハ非常ナ活氣ガアル、彼等ノ憲法ハ、

國民ノ勝利ノ感激ト觀喜ノ絶頂ニ於テ作ラレタ、ダカラ活キ／＼シテ居ル(拍手)色々ノ趣旨ノ不明瞭、或ハダラシタコト、是ハ草案起草者ノ信念ノ厭ヤ／＼民主主義ニアル、ソコニ根柢ヲ胚胎シテ居ルデアリマス、ソナコトデハイケナイ、現在ノ民主主義ト云フモムハ、前記シタヤウナ意義ヲ持ツノデアリマスルカラ、一日モ早ク民主主義化シナケレバナラス、憲法改正ハ其ノ民主化ヘノ門出デアルト云フ意味ニ於テコソ、此ノ憲法改正案ハ審議セラレナケレバナラス、デアリマスルカラ我々ノ審議態度ト云フモノハ、如何ニシタラ此ノ憲法改正案ヲモット完全ニ民主化スルコトガ出來ルデアラウカ、斯ウ云フ線ニ沿ツタ立場、觀點カラ審議セラレナケレバナラスノデアリマシテ、之ヲ逆轉シテ保守化シヨウト云フガ如キコトハ以テノ外デアリマス(拍手)此ノ憲法改正案審議ニ對スル根本態度ニ付キマシテ、吉田首相ノ明快ナ御答辭ヲ要求スル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣金森德次郎君登壇〕
○國務大臣(金森德次郎君) 細迫君ノ御尋ネニ對シマシテ御答ヘテ致シマス、是ハ天皇無答責ノ合理的實證の根據如何ト云フ御質問デアリマシテ、論理的ナ緻密サ、極メテ銳利ナル論法ヲ以テ質疑ヲ進メラレマシタ、此ノ憲法ノ上ニ於キマシテ、天皇ノ御權能ハ、前カラモ申上ゲマシタヤウニ、國ノ象徴デアリ、國民統合ノ象徴デアルト云フコトニ接著致シマシテ、必要ニシテ極メテ適切ナル範圍ニ限定ヲ致シタノデアリマシテ、更ニ加フルニ、一切ノ行動ニ付キマシテ内閣ノ助言ト承認トヲ必要トシタ譯デアリマス、サウシテ更ニ細迫君ガ御指摘ニナリマシタヤウニ、統シテ治セズト云フヤウナ心持ノ規定ヲ第四條ニ定メタノデアリマス、隨テ天皇ノ無答責ノ實證のナ根柢ハ、是等ノ事情ニ依ツテ略々御分リニナルト思ヒマスガ、細迫君ハ御議論ガ論理的緻密サニ重點ヲ置カレテ居リマス、私ハ政治的ノ實情ヲ考ヘマシテ、是デ以テ無答責デアルト申上ゲルノデアリマス(拍手)

次ニ門地ニ依ツテ權能ヲ分ケテハナラスト云フゴトヲ緒論トシテ、天皇ニ選舉權ナシトスルカ、アリトスルカト云フ御尋ネデゴザイマシタ、是ハ私ガ既ニ此ノ議會ニ於テ度々申上ゲマシタヤウニ、天皇ヲ含メタル國民ト云フ言葉ヲ用ヒマシタ、ソレガ何トナク曖昧ノ如ク皆様方ニ響イテ居ルガ如キ感想ガゴザイマスルガ故ニ、今日言葉ヲ改メマシテ、此ノ前カラ言葉ヲ取ツテ來マスレバ、主權ハ國民ニ在ル、其ノ國民ト云フ言葉ノ意味ノ中ニハ天皇ガ含マレテ居ル、斯ウ云フ風ニ言葉ヲ言ヒ改メマス(拍手) 隨テ其ノ精神ニ則リマシテ、御質問ノ次第ハ分ルコトト考ヘルノデアリマスルガ、念ノ爲ニ一言附ケサシテ戴キタイト思ヒマス

一體天皇及ビ一般ノ國民ガ日本國家ノ構成員デアアルコトハ、一點ノ疑ヒナイト思ヒマス、日本ノ普通ニ用ヒラレマス言葉ノ中ニ、國ノ構成員ト云フヤウナ字ガ廣ク用ヒラレテ居リマスルナラバ、實ハ御疑惑ヲ生ズル餘地ハナツタカト思ヒマスルガ、ソレガナイ爲ニ國民ト云フ言葉ヲ用ヒラレテ居ルカラ、仍テ種々ナル疑惑ヲ以テ、何等ノ疑惑ヲ受クベキ實情ナキニ拘ラズ、色々ナ懸念ヲ抱クコトニナツタト思ヒマス、ソコデ囊ニモ申シマシタヤウニ、天皇ハ國民ト云フ言葉ノ意味ノ中ニ含マレテ、第三章ノ多クノ用語ガ築キ上ゲラレテ居ルノデアリマス、隨テ純理ノ問題ト致シマシテハ、天皇御一人ノ立場ニ於キマシテハ選舉權アリト云フ結論ヲ一應ハ生ズルノデアリマス、併シナカラ御承知ノヤウニ、法文ニハ一般規定、特別規定ト云フモノデアリマス、天皇ハ第一條ニ於テ國ノ象徴デアルト云フコトデアリマシテ、即チ謂ハズ無色透明ト申シマスガ、何レニ向ツテモ何等ノ偏ル所ノナイ中心の御存在デアリマスルガ故ニ、ソレガ選舉權ヲ御持チニナルト云フコトハ、物ノ條理ニ於テ考ヘラレナイコトト思ヒマス(拍手)

〔國務大臣吉田茂君登壇〕
○國務大臣(吉田茂君) 私ヘノ質問ニ對シテ御答ヘテ致シマス、憲法ノ民主化、平和化ノ必要ニ付テノ御議論ハ全然御同感デアリマス、又御同感ノ理由ニ付テハ、前日來私ガ此處ニ於テ述ベマシタ所ニ依ツテ御諒承ヲ願ヒマス、貴族院ニ關スル御話ニ付テハ、私ノ承知シナイ所デアリマスガ、何か誤聞デハナイカト私ハ考ヘマス、御答ヘ致シマス(拍手)

○細迫兼光君 第一ノ天皇無答責ノ問題ニ付テノ御回答ハ、普通ニ言フ意味ニ於テ、私ヲ満足セシメルモノデアハラマセマスガ、是ハ併シナラ、此ノ改正案ノ何處カラモ私ヲ満足セシメル實質的ナ答辭ハ得ナイモノダト云フ意味ニ於テ、満足スルモノデアリマス、之ヲ以テ私ノ質疑ヲ終リマス(拍手)

○議員(樋貝貞三君) 布利秋君

〔布利秋君登壇〕
○布利秋君 憲法ノ討論ハ本日モ續行サレ、丁寧ヲ盡シ、委員會ニ於テ質疑致ス種類ノモノマデモ、此ノ本會議ヲ通ジテ微ニ入り細ニ入り正副所ナシ、斯クシテ最終ノ段階ニ入ラントシテ居リマスノデ、私ハ質疑ノ終リニ起ツテ、少數黨ノ日本民主黨準備會ヲ代表致シ、政黨政派ヲ超越シテ憲法大革命ニ對スル質疑ヲ試ミマス

〔發言スル者多シ〕
○議員(樋貝貞三君) 靜肅ニ

○布利秋君(續) 戰フベカラザルニ戰ツテ敗レマシタ、敗レタ民族ハ再び起上ル爲ニ、何レノ國モ新シキ憲法ニ依ツテ其ノ損害ヲ償ハントスルコトハ、敗戰ノ生ミマス憲法ノ自然的發達デア

リマス、一九二八年十一月、第一次世界大戦ハ「ドイツ」ノ敗北ヲ終ツタコトハ分ツテ居ル、皇帝「ヴィルヘルム」二世ヲ追放シタ「ドイツ」ノ民族ハ、民主主義共和國ノ「ワイマール」憲法ヲ作ツタ、是ガ世界の民主憲法トシテ世界ヲ震撼サセタ、今日ノ我が憲法改正モ亦世界ノ視聽ヲ集メテ居ル、「ドイツ」ト同ジク軍閥ノ禍ヲ受ケタル「トルコ」ノ「オスマン」帝國ノ憲法ニシテモ、敗戦ノ苦難、ソレヲ切抜ケテ「ケマルパシヤ」ノ手ヲ革命的ナ憲法大會議ヲ「アンゴラ」ニ開イタ、遂ニ三百有餘年ニ亙ル「アジア」民族ノ「トルコ」帝國ガ、民主主義共和國憲法ニ變革サレテシマツタ、敗戦者ニ發言ナシト云フ苦キ運命ヲ嘗メ盡シテ來テ居ル、ダカラ戰争ハ餘リヤルモノデヤナイ(笑聲、拍手)ソレ等ノ「ワイマール」憲法ニシテモ、「トルコ」ノ「アンゴラ」憲法ニシテモ、議會ノ周邊ハ機關銃ヲ置カナケレバヤレナイヤウナ狀況ヲ示シタ

〔議長退席、副議長著席〕
所ニ幸カ不幸カ、我等國民ノ新憲法會議ハ、開散ニシテ靜肅、一發ノ擲次モ出ナイマデニ眞劍、眞實、而モ憲法提案者タル政府側モ懇切丁寧、標ヲ正シタクナル程張切ツテイラツシヤルト言ヒタイ、併シ事實ハ情氣滿々(笑聲)類杖ヲツキツ、居眠リシツ、没法子ノ態度モ見ラレマシタ(發言スル者多シ)斯カル空氣ノ中ニ、現行憲法ノ補則第七十三條ニ「議員三分ノ二以上出席ス

ルニ非サレハ議事ヲ開クコトヲ得ス」トアツテ、議場内ニ出席シマスル議員ノ數ハ、私ガ算ヘテ見タ目ニハ、三分ノ二ニ足リナイ日モナカツタトハ言ヒ得ナイ
〔ノノノ〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ
○副議長(木村小左衛門君) 靜肅ニ
○布利秋君(續) ナカツタトハ言ヒ得ナイ、勿論憲法ノ提案ヲ急ガレル御氣持ハ十二分ニ分リマス
〔何ヲ質問シテ居ルカ〕何ヲ言フカ「靜カニ」ト呼ブ者アリ
○副議長(木村小左衛門君) 布君、質問ノ本論ニ入ツテ下サイ
○布利秋君(續) 併シ最終ノ質問ニ當リマシテ多少ノ難點ヲ見セテ戴クコトヲ御願ヒ致シマス、由ラシムベシ知ラシムベカラズ、官僚ノ行政精神ガ官尊民卑ヲ作ツテ惱マシテ居リマス、ソレニ依ツテ今日マデニ彈壓サレタ者ハ數限リナクアリマスガ、此處デハ憲法ノ會議ヲ、ソレ等軍閥ノ彈壓ヲ受ケタ連中ニ依ツテ行ツテ居ルガ、是モ能ク事ノ終リヲ初メニ於テ研究シテ置クコトノ必要ガアル

○副議長(木村小左衛門君) 布君、質問ノ本論ニ入ツテ下サイ
○布利秋君(續) 本論ニ入りマストシテモ、民主主義ナルモノガ本當ニ徹底シテ居ツテ本論ニ進メヨト言ハレルノデアルカ、民主主義ナルモノハサウ生易シク分ルモノデハアリマセズ、分

ラズナリニ盲人ノ手探リデハ危險千萬デアルカラ 私ハ多少ノ前置キヲ言ハシテ戴キタイ、其ノ難點ガ欲シト云フノデアリマス、西洋ノ「インディヴィジュアル」ト云フモノ、其ノ「ディヴィジュアル」デアルカラ、此ノ意味ハ共存のニ互ヒニ分擔シ合フト云フ共存主義ノ、即チ共存生活ノ保障デアリニ拘ラズ、お互ヒガ我ヲ抑シテ、自分サヘ宜ケレバ宜イト云フ、マルデ人ヲ殺殺シ、彈壓スルガ如キ精神ヲ以テ憲法ノ改革ハ出來ナイモノト思フ爲ニ私ハ申上ゲル〔早ク本論ニ入レト〕呼ビ其ノ他發言スル者多シ 諸君ノ要求ニ應ジテ時間ヲ節約スベク、私ハ次ノ努力ヲ拂ツテ居ル

〔發言スル者アリ〕
○副議長(木村小左衛門君) 靜肅ニ願ヒマス
○布利秋君(續) 警察權ヲ地方ニ移スト云フ言葉モ聞キマシタガ、地方的ニ移シテ……〔何ヲ質問シテ居ル〕ト呼ブ者アリ 是ガヤハリ憲法ノ本論ニ密著シテ居ル、ソレカラ受ケル弊害、私ハ主トシテ憲法ノ運用ニ付テ自分ノ主張ヲ進メタイト思フノデアリマスカラ、アナタ方ノ如ク各條々々ニ於テ之ヲ讀ミ盡サントシテモ、既ニ多クヲ語リ盡サレテ居ル後ニ起ツタ者ノ此ノ苦シミヲ一ツ御諒承願ヒタイ〔何ヲ言フカ、質問ガナケレバ降壇セヨ〕ト呼ブ者アリ 金森國務相ハ社會黨ノ森戸君ノ質問ニ對シマシテ、立法ト司法ノ考

ヘ方ヲ矛盾スル場合モアルカモ知レマスト云フ風ヲ御答ヘヨ昨日ナスツテ居ルカニ思フ、司法ハ政黨政派ヲ超越スベク、神聖ニシテ使スベカラザルモノデアアル、政治思想ノ發達シナイ日本ニ於テ、政黨政派ヲ超越シタ大衆ノ中カラノ識者、其ノ人民ノ公選ニ依ツテ司法大臣ヲ御作りニナルト云フ御親切ガ欲シイノデアアル〔ソレガ本論カ〕「チツトモ分ラナイ」ト呼ブ者アリ 分ル時ニハ分ル、又教育ノ面ニ關シマシテ、是ハ文部大臣ガヤハリ政黨政派ヲ超越シテ戴カナケレバナラス爲ニ、私ノ宿論ヲシテハ司法大臣ト文部大臣ダケハ人民ノ手ニ依ツテ公選シテ貰ヒタイト云フコトヲ念願シテ居リマス

○副議長(木村小左衛門君) 布君ニ御注意致シマス、憲法改正案ノ爲ノ質疑ニ入ラレシコトヲ望ミマス
○布利秋君(續) 十九條ノ集會結社、言論、出版ノ無檢査、無檢閱、是ハ外國ノ事情ニハ相應シイモノデアリマセウ、ケレドモ是カラ起キマスル波動動少シク調べテ戴イテ、此ノ十九條ニ力ヲ入ラレレコトデハナカツタト考ヘマス、是ハモウ正ニ失業狀態ガ多數ニ殖エ、將來益々殖エルコトニナリマスルト、其ノ中ニ「インテリ」階級デ働カントシテ働ケズ、食ハントシテ食ヘズ、結局人ヲ罵倒シ、人ヲ強請スルト云フコトヲシナケレバナラナイ羽目ニモ陥ル、サウ云フ場合ニ一體此ノ第十

九條ハ非常ニ便利ナモノデアアル、ソレハ政治面ニ及ボシマスコト、社會面ニ及ボスコトヲ篤ト御考察ニナツテ、社會不秩序ニ對シマスル防禦方法ニハ此ノ十九條ハ關係ナイト御考ヘニナルカモ知レマセズ、之ニ付テ若シ内務大臣ヨリ十九條ニ付テ……〔何ヲ質問シテ居ル〕「降壇々々」ト呼ブ者アリ 私人主トシテ運用ト云フコトニ付テ質問ヲシテ居ル、併シ憲法ノ出來マスコトハ間違ヒナイノダ、之ヲ運用スルコト宜シキヲ得ルト云フコトモ、生活ノ上ニ於テ必要デアルカラ申上ゲテ居ル、ソレカラ此ノ憲法ノ全文ヲ通ジマシテ、大臣ト云フ文字ヲ多ク、當然必要デアルカラ使ツテアルノデアリマセウガ、願ハクハ大臣ノ名前ヲ之カラ削除シテ戴イテ、一般國民ニ親シイ名前ニ變ヘテ戴キタイ、過去ニ於ケル大臣ノ名前ニ依ツテ、我々ハ牛ノ如ク、馬ノ如クヤツテ來マシタ、其ノ封建時代ノ名前ヲ、今モ新憲法ノ上ニ用ヒナクテハナラナイト云フ約束ハナカラウト思フ、若シ良心ガアリマスルナラバ、退イテ靜カニ此ノコトヲ考ヘテ、時勢ニヤハリ合フベク進ム上ニ於テ御考ヘ願ヒタイノデアアル、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

ソレカラアナタ方ノ最モ御憎ミニナルコトヲ申上ゲル、代議士ガ四年間此處ニ坐リマスコトハ、水モ長ク溜レバ腐ル、私ハ外國ノ例ヲ取ル譯デハナイガ、是ハ二箇年位デ切替ヘテ行クナラバ、洵ニ國民モ喜ブシ、世ノ中ノ移リ

ハ政治面ニ及ボシマスコト、社會面ニ及ボスコトヲ篤ト御考察ニナツテ、社會不秩序ニ對シマスル防禦方法ニハ此ノ十九條ハ關係ナイト御考ヘニナルカモ知レマセズ、之ニ付テ若シ内務大臣ヨリ十九條ニ付テ……〔何ヲ質問シテ居ル〕「降壇々々」ト呼ブ者アリ 私人主トシテ運用ト云フコトニ付テ質問ヲシテ居ル、併シ憲法ノ出來マスコトハ間違ヒナイノダ、之ヲ運用スルコト宜シキヲ得ルト云フコトモ、生活ノ上ニ於テ必要デアルカラ申上ゲテ居ル、ソレカラ此ノ憲法ノ全文ヲ通ジマシテ、大臣ト云フ文字ヲ多ク、當然必要デアルカラ使ツテアルノデアリマセウガ、願ハクハ大臣ノ名前ヲ之カラ削除シテ戴イテ、一般國民ニ親シイ名前ニ變ヘテ戴キタイ、過去ニ於ケル大臣ノ名前ニ依ツテ、我々ハ牛ノ如ク、馬ノ如クヤツテ來マシタ、其ノ封建時代ノ名前ヲ、今モ新憲法ノ上ニ用ヒナクテハナラナイト云フ約束ハナカラウト思フ、若シ良心ガアリマスルナラバ、退イテ靜カニ此ノコトヲ考ヘテ、時勢ニヤハリ合フベク進ム上ニ於テ御考ヘ願ヒタイノデアアル、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

ソレカラアナタ方ノ最モ御憎ミニナルコトヲ申上ゲル、代議士ガ四年間此處ニ坐リマスコトハ、水モ長ク溜レバ腐ル、私ハ外國ノ例ヲ取ル譯デハナイガ、是ハ二箇年位デ切替ヘテ行クナラバ、洵ニ國民モ喜ブシ、世ノ中ノ移リ

變リエモ耐ズルコトが出来テ、私ハ二箇年ト云フコトヲ何處マデモ主張シテ已マナイノデアル(拍手、笑聲) 社會黨ガ提案シマシタ當時議會、是ハ私モ提案シテ居ルカラ、是ハ一致スル、此ノ當時議會ガ若シ其ノ線ニ沿フコトノ出来ナイ事情デアリマスルナラバ、半年デモ宜シイ、少シク長ク議會ヲ開キマセスト、此ノ民主主義ヲ徹底サセルコトハ到底難カシイ、ソレハ行政機關ヲガツチリト握ツテ放サヌ官僚ノ「ブロッカ」ガアリマスルカラ、之ニハ大臣諸君デモ思フヤウニナラヌノデアラウト思フ、ソレカラ又氣ニ入ラヌコトヲ申上ゲルガ、衆議院ト云フモノハ、既ニ戰爭失敗ノ責任ヲ負擔シテ居ル名前デアアル、新憲法ガ出マスニ付テ、貴族院ハ參議院トナル、衆議院ハ人民ノ名、即チ民ナル字ヲ使ツテ、民議院トサシテ戴クコトヲ私ハ希望シテ已マスノデアル(笑聲)

ソレカラ婦人ノコトニ關スル希望デアリマシテ、「ワイマール」憲法ノ百十九條ニ、產婦ハ國家ノ保護及扶助ヲ求ムル權利ヲ有ス、此ノ一條ヲ金森國務相ニ向ツテドカ熱意ヲ以テ挾ンデ戴クコトハ出来ヌカト云フ希望附ノ質疑ヲ致ス譯デアリマス

ソレカラ吉田總理ガ過グル日ニ、「ボツダム」宣言ニ對シテ國體維持ヲ條件トシテ受諾致シタノデアルト斷言サレタコトハ、昨年八月十五日以來我々

ガ胸ヲ惱マシテ居ツタ問題デアリマス、此ノコトハ間違ヒナイコトデアアルカ、ソレトモドウ云フコトデアアルカ、餘リ明瞭デアリマセヌデシタカラ、今日出来ルコトナラバ安心ノ出来ルヤウニ一ツ御答ヘテ願ヒタイ、私ハ最終ニナリマシタカラ、諸君ガ「ト云フ、サウ云フ態度」下ニ此ノ新憲法ガ生レツ、アルト云フコトヲ深ク心魂ニ徹シテ居リマス、之ヲ以テ私ハ質疑ヲ終リマス(拍手)

〔議長注意シロ〕「取消サセロ」

〔除名〕「怪シカラヌ」

ハセトルヂヤナイカ」其ノ他發言スル者アリ

○副議長(木村小左衛門君) 只今ノ論議ニ付キマシテハ、ドウカト思ヒマスル點ガゴザイマスルカラ、速記録ヲ調査ノ上テ御報告致シマス

〔國務大臣金森德次郎君登壇〕

○國務大臣(金森德次郎君) 隔々ツタ場所ニ居リマシタ爲ニ、十分聴取レマセヌデ、或ハ答辯ガ續ツチヨニナルカモ知レマセヌガ、御許シテ願ヒマス

先ツ初メ第十九條ノ集會結社及ビ言論出版ト云フモノノ自由ガ強過ギルノヂヤナイカ、ソレガ爲ニ濫用サレテ、寧ロ世ノ中ノ秩序ヲ妨ゲルノヂヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御質疑ガアツタト思ヒマシタ、ソレハ第十一條ニ御覽ニナレバ分リマスルノデ、此ノ出版ノ自由ハ絕對的ノモノデハナイノデアリマシテ、第十一條ニ依ツテ制限セラ

レ、公益ノ中ニアル譯デアリマス

ソレカラ大臣ノ言葉ガ面白クナイト云フ御話デアリマシタガ、慣用セラレタル言葉ニハソレダケノ味ハヒガアルノデハナカラウカト思ツテ居リマス

ソレカラ衆議院ハ民議院トシタラドウカト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、參議院モ亦一ツノ民議院デアリマシテ、衆議院ト云フ言葉ノ方ガ的確ニ實情ヲ表ハスヤウニ思ヒマス(拍手)

○副議長(木村小左衛門君) 野坂參三君

〔野坂參三君登壇〕

○野坂參三君 我ハ日本共產黨ヲ代表シテ、主トシテ六ツノ點ニ付テ總理大臣及ビ金森國務大臣ニ御質問シタイシ、又其ノ他三、四ノ大臣方ニモ御質問シタイト思ヒマス、今我々ノ前ニハ憲法改正草案ガ出テ居リマス、是ハ新シイ日本ノ骨組ヲ作ルモノデアアル、今日本ノ人民ハ新シイ民主的ナ日本ノ建設ヲ要求シ、叫ンデ居ル、此ノ骨組ヲ作ル、是ガ即チ憲法ノ意義デアリ、又是ガ爲ニ我々ハ今此處ニ討論ヲ展開シテ居ル、日本ノ歴史ニ於テ是ハ劃期的ナ事件ダト我々ハ考ヘマス、併シ是ダケデハナイ、世界全體ガ今此ノ議會ヲ注視シテ居ル、世界ノ民主的國家ノ人ガ、今此ノ議會ヲ討論サレル憲法草案ガドウ云フ運命ニナルカ、之ヲ見守ツテ居ル、謂ハバ今日日本ノ國民ハ、特ニ我々代議士ハ、新シイ學校ノ入學試験ニ會ツテ居ルヤウナモノデアアル、是

ガ一ツノ試験問題、之ニ對シテ我々ハドウ云フ解答ヲ與ヘルカ、果シテ世界ノ民主的國民ガ満足スルヤウナ解答ヲ與ヘルカドウカ、若シ我々ガ民主的ナ「徹底シタ民主的」憲法ヲ作ラナケレバ我々ハ落第ダ、併シ我々ガ眞ニ世界ノ民主的國民ノミナラズ、日本人ノ本當ニ要求スルヤウナ、斯ウ云フ憲法ヲ作り上ゲルナラバ、其ノ時初メテ我々ハ「パス」スル、又世界ノ民主的ナ諸國ノ仲間入りモ許サレル、此ノ意味ニ於テ今度ノ憲法ハ國內的ニモ國際的ニモ重要ナ問題デアアル、唯遺憾ナコトニハ、率直ニ申シマスレバ、此ノ憲法ニ對スル當議院ニ於ケル一部ノ代議士諸君ノ熱意ガ足ラナイコトガ非常ニハツキリ現ハレテ居ル、此ノ議席ヲ見テモ分ツテ居ル、此ノ重大ナ討論ニ於テ是ダケ缺席ガアル、是ハ我々自身ガ十分反省シナケレバナラヌ、斯ウ云フ態度デ此ノヤウナ重要ナ憲法ガ一體討論出來ルカ、正シイ結論ガ見出サレルカ、是ハ我々全體ガ反省スベキデアルト思フ、ダガ當議場ニ於テ此ノ二三日間、今日ヲ密セテ三日半、此ノ討論ニ於テ我々ニハツキリシタコトハ、二ツノ陣營ガ此處ニ分レテ來テ居ルコト、此ノ憲法問題ヲ中心ニシテ、一ツノ陣營ハ、此ノ憲法ヲ土臺ニシテ出來ルダケ先ヘ「行カウトスル、モット徹底シタ進歩的ナ憲法ヲ作ラウトスル、眞ニ民主的ナ憲法ヲ作ラウトスル、此ヲ先ヘ「進マウトスル」スウ云フ陣營、

是ハ我々共產黨ガ先頭ニ立ツテ居ルト私ハ自負スルシ、又同時ニ或ル程度ニ於テ社會黨モ同陣營ノ仲間デアルト我々ハ信ジテ居ル、是ガ第一ノ陣營、第二ノ陣營ハ、此ノ憲法ヲ出來ルダケ後ヘ「引留ラサウ、後退サセヨウト云フ傾向ガ取サレル、我々ハ若シ此ノ私ノ見方ガ間違ツテ居レバ...

〔進ツテ居ル〕「取消セ」ト呼ブ者アリ

○副議長(木村小左衛門君) 諸君ノ願ヒマス

○野坂參三君(續) 一ツハ是ハ見方ノ相違デス、我々ハ出來ルダケ此ノ憲法ヲ前ヘ「ト進メタイ、今第二ノ方向ニ居ルノガ總理大臣ノ此ノ前ニ言ハレタ言ニ現ハレテ居ル、總理大臣ハ斯ウ申サレマシタ、現在ノ此ノ憲法ハ民主的デアツテ、反軍國主義的デアアル、斯ウ云フ風ニ言ハレタ、一體果シテサウカドウカ

〔副議長退席、議長當席〕

金森國務大臣モ同ジヤウナコトヲ申サレタト記憶シマス、之ニ付テ又五箇條ノ御釋文ガ茲ニ引用サレテ、是ガ即チ日本ノ民主主義的ナ基本ニナツテ居ル、斯ウ云フコトモ申サレタト思ヒマス、ダガ果シテ此ノ五箇條ノ御釋文ガサウデアツタカドウカ、是ハ我々ハモウ少シ冷静ニ科學的ニ考ヘテ見ル必要ハナイカ、私達ノ考ヘデハ、是ハ徳川封建勢力或ハ徳川封建制ニ對スル明治政府ノ官僚主義ノ對抗宣言デアアル、詰

リ徳川封建制度ニ對スル、新シク出來
タ所ノ官僚政府ガ對抗スル所ノ宣言デ
アル、斯ウ云フ風ニ我々ハ解釋シテ居
ル、又「廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ決
スヘシ」、斯ウ云フ言葉モアリマス、併
シ是ハ歴史ガ事實ニ依ツテ證明スル如
ク、決シテ民主的議會ヲ言ツテ居ルノ
デハナイ、是ハ御存ジノヤウニ、當時
ノアノ反動的ナ地方長官會議ヲ意味シ
テ居ル、サウシテ進歩的ナ民選議院運
動ハ、政府ハ彈壓シテ居ル、眞ニ民主
的ナ議會ノ要求運動ハ彈壓シテ、サウ
シテ唯地方長官會議ヲ開ク、是其ガノ
「萬機公論ニ決スヘシ」ト云フ結論トシ
テ出サレテ居ルノデアル(ノ一ノ一)ト
是ハ歴史ノ證明スル所ダ...

「封建政治ニ於ケル解放ダ」語ヲ
聽ケ」ト呼ブ者アリ」

○議長(議員三君) 靜肅ニ

○野坂參三君(續) 是ハ五箇條ノ御誓
文デアリマスガ、ソレカラ更ニ現行憲
法、之ヲ見ル、御存ジノヤウニ是ハ
「プロシヤ」ノアノ保守的ナ反動的ナ憲
法ヲ眞似タモノデアアル、是ハモウ事實
デアアル、ソレカラ此ノ憲法ガ如何ニ非
民主的デアアルカト云フコトハ世界ノ定
論ニナツテ居ル、ダカラ今度之ヲ改正
シナケレバナラナクナツタノダ、之ニ
付テ私ハ私ノ口カラハ申シマセス(「何
處カラ申ス」ト呼ブ者アリ)口カラ申
サナクテ...

「腹カラ申スカ」ト呼ブ者アリ」
○議長(議員三君) 靜肅ニ

カラ、而モ是ハ大體ニ於テ聯合國側ノ
意見ヲ代表シテ居ルヤウニ見ラレル、
此ノ言葉ニ依ツテ現行憲法ガドウ云フ
モノデアアルカト云フコトヲ此處テ御話
シタイト思ヒマス、是ハ去ル十四日ニ
市ヶ谷ノ「A」級戰犯罪人裁判ニ於
テ「アメリカ」ノ方ノ檢事「ローラン」
代將ガ言ツタ言葉デス、是ハ此ノ儘此
處テ譯シテ申シマス、彼ハ斯ウ言ツ
テ居ル、現行日本憲法ハ二ツノ
目的ヲ以テ作ラレテ居ル、即チ

第一ハ代議制ニ對スル一般輿
論ヲ和ゲル爲メデアリ、第二ハ集權
的、專制的政治機構ヲ保全シ、堅固ニ
スル爲メデアアル、此ノ二ツノ目的ノ爲
ニ、權力ハ天皇周圍ノ「アドバイ
ザ」顧問ノ小集團ノ手ニ保持サレテ
居ル、是ガ「ローラン」代將ノ言葉デ、
更ニ彼ハ續ケテ日本ノ今日マデ憲法ニ
依ツテ構成サレタ所ノ色々ナ政治機
關、例ヘバ政府ニ付テ彼ハ斯ウ言ツテ
居ル、政府ノ施策ハ國民ニ對スル責任
ニ缺ケ(「發言スル者アリ)中央集權
ト...

「何ダ」「喧シイコトヲ言フナ」ト
呼ビ其ノ他發言スル者多シ」

○議長(議員三君) 靜肅ニ願ヒマス

○野坂參三君(續) 中央集權制ト專制
制度強化ダケニ專念シ、議會ノ權能ハ
餘リニモ狭小デアアル、第二ニ、内閣總
理大臣ニ付テ彼ハ斯ウ言ツテ居ル、内
閣總理大臣ハ輿論ヲ代表スル議會ノ

第一黨ガ就任セズ、天皇ガ憲法外ノ機
關、即チ元老、重臣、内大臣ノ奏請テ
決メタ、第三ニハ、議會ハ可決權ヲ持
ツテ居ルガ、法律ノ立案、成文化ハ政
府機構ガヤル、貴族院ノ二分ノ一ハ華
族、四分ノ一ハ多額納稅者、他ハ勅選
議員デ、有産階級、保守階級ノ大キナ
支持者デアアル、第五番目ニ、樞密院ハ
明治二十三年ノ官制デ、憲法、國際協
約發布前ノ勅令ニ關シテダケ天皇ノ諮
問ニ意見ヲ上奏サレテ居ルガ、最近ハ
對外、對内國策決定ニモ口ヲ入レタ、
對内閣ノ政策ヲ改變、政治的責任ハ
少シモ負ハズ、議會制度ノ大障礙ヲナ
シテ居ル、更ニ六、此ノ六ニ付テハ軍
部ノ問題ガ出テ居リマス、是ガ「ロー
ラン」代將ノ日本憲法ニ對スル見解
デ、恐ラク是ハ聯合國側ノ意見ヲ代表
シテ居ルモノト我々ハ考ヘテ差支ヘナ
イダラウト思フ、サウシマス、吉田
總理大臣及ビ金森國務相ニ私ガ御聽キ
シタイコトハ、以上ノ此ノ「ローラン」
氏ノ言葉、現行憲法ニ對スル此ノ解釋
ハ、是ハアナタ方ノ意見ト矛盾スルノ
デハナイカ、相以スルノデハナイカ、
御存ジノヤウニ、此ノヤウナ解釋ハ唯
「ローラン」代將ノ解釋ダケデアリマ
セス(「日本全國國民ノ解釋ダ」ト呼ビ、
其ノ他發言スル者アリ)サウデス

「分ツテ居ル、ダカラ憲法ヲ改正
スルンダ」ト呼ビ、其ノ他發言ス
ル者多シ」
○議長(議員三君) 靜肅ニ

○野坂參三君(續) 日本全國國民ノ解釋
ダケデアナイ、世界ノ人民ガ此ノヤウ
ニ解釋シテ居ル、ダカラ我々ハ今ノ憲
法ハ惡イカラ新シイ憲法ヲ作ラナケレ
バナラナイ、此ノ點ニ付テ總理大臣ノ
明確ナ御回答ヲ私ハ希望シマス、若シ
「ローラン」代將ノ見解ガ假ニ正シイナ
ラバ、之ヲ承認サレルナラバ、サウス
レバ先日吉田及ビ金森兩氏ノ御回答
ハ、是ヲ覆ヘサレルモノカドウカ、此
ノ點ニ付テ私ハ御聽キシタイ(拍手)

ソレカラ總理大臣ハ、現行憲法ハ軍
國主義的デアナイ、斯ウ云フ風ニ言ハレ
タ、併シ「ローラン」代將モ此ノ次ニ
言ツテ居ル、此ノ憲法ニ依ツテ軍部ガ
特殊ノ權力ヲ持チ、所謂帷幄上奏權等
等——サウシテ彼等ガ自由勝手ナ專制
ヲヤルコトガ出來ル、斯ウ云フ風
ナ組織ニナツテ居ル、茲ニ戰爭ノ起ル
原因ガアル、即チ憲法自體ニ戰爭ヲ起
スヤウナ、軍國主義ヲ生ムヤウナ、斯
ウ云フ根本ガアル

「分ツテ居ルコトダ」ト呼ビ其ノ
他發言スル者多シ」

○議長(議員三君) 靜肅ニ願ヒマス

○野坂參三君(續) ソレカラモウ一ツ
御聽キシタイコトハ、是ハ若シ現在ノ
憲法ガ民主的デアツテ、サウシテ新シ
イ憲法草案ガ是ノ其ノ儘ノ繼續デア
ル、發展デアルト云フ風ニ申サレタヤ
ウニ私ハ記憶スル、若シサウナラバ、
現行憲法ハ一般ニ今マデハ所謂神權主
義、之ニ基イテ居ル、即チ天皇ガ統治

スル、天皇ノ權威ハ神意カラ出テ來
ル、是ハ天孫降臨ノ神勅ガ即チ根據ニ
ナツテ居ル、是ガ所謂今マデノ定説ニ
ナツテ居ル、若シ此ノ草案ガ現行憲法
ノ其ノ儘ノ繼續デアラバ、此ノ草
案自身モ神權說ヲ執ルモノカドウカ、
之ヲ私ハ總理大臣及ビ金森國務相ニ御
聽キシタイ、是ガ第一ノ點デス

第二ノ點ハ憲法改正ノ手續ニ付テデ
アル、此ノ手續ノ問題ハ非常ニ重要ナ
問題ト思ヒマス、民主的憲法ハ又民主
的ナ手續方法ニ依ツテ作ラレナケレバ
ナラス又、私達ハ此ノ憲法ニ付テ斯ウ
云フ風ヲ解釋ヲ持ツテ居ル、憲法ナル
モノハ一國ノ社會的變革ガ一應完成シ
タ後ニ、此ノ革新ノ獲得物、之ヲ法律
ニ依ツテ確保スルコトデアアル、即チ日
本ニ民主主義的ナ革命ガ大體ニ於テ完
成サレタ點ニ於テ、之ヲ法的ニ確保ス
ル爲ニ憲法ガ必要デアアル、大體ニ於テ
何處ノ憲法デモサウナツテ居ル、併シ
ナガラ遺憾ナガラ此ノ憲法上程最初ノ
日ニ、志賀義雄君ガ動議ヲ出シ
タヤウニ、マダ此ノ憲法ヲ作ル
ベキ條件ガ日本ニハ十分ニ成熟シテ居
ナイ、ダカラ之ヲ延期スベキデアアル、
斯ウ云フ風ニ我々ハ主張シテ居ル

「發言スル者多シ」
○議長(議員三君) 靜肅ニ願ヒマス
○野坂參三君(續) 此ノ點ニ付テハ私
ハ志賀君ガ既ニ緊急動議ノ際説明ヲ申
シタカラ、是レ以上餘リ詳シクハ申シ
マセスガ、是ハ或ル代議士モ言ハレマ

シタガ、此ノ憲法ハ將來日本ガドウスルカ、斯ウ云フモノモ之ニ含メテ居ル、斯ウ云フ風ニ言ハレル、サウスレバ即チ現在既ニ我々ノ獲得シタモノノ法のニ之ヲ確保スルノデハナク、將來我々ガ之ヲ獲得シヨウトスルモノ、是ハ憲法デハナイ、憲法デハナクテ、是ハ政府ノ政綱デアリ、或ハ政黨ノ綱領デアリ、我々ハ今茲ニ於テ憲法ヲ作ル、綱領ヲ作ツテ居ルノデハナイ、此ノ意味ニ於テモ私ハ此ノ憲法提出ハマダ時期尙早ダト言ヒ得ルト思フ、此ノ點ニ付テ私ハ金森國務相ノ回答ヲ求メタイト思フ

モウツ言ヒタイコトハ、是ハ「マツカト」司令部ノ方カラ、六月二十二日ニ斯ウ云フコトヲ指示シテ居ル、即チ本草案ノ審議ノ手續ガ、詰リ現行憲法ト完全ニ法律上ノ聯關性ヲ持タセルコト——法律上ノ聯關性ヲ持セルコト、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、現行憲法ト此ノ草案トノ間ニ法律上ノ聯關性ガナケレバナラナイ、此ノ問題ヲ私ハ金森國務相ニ特ニ御馳キシタイ、一般ニ現行憲法第七十三條デハ、天皇ガ此ノ草案ヲ出サレドデアツテ、之ニ對シテ議會ハ唯「イエス」カ「ノー」カヲ言ヘル、之ニ對スル修正權ハナイト云フ風ニ今マデ理解サレテ居ル、是ガ大體ニ於テ定説トナツテ居ル、是ハ美濃部サンモサウ言ツテ居ル、宮澤氏モ言ツテ居ル、又最近デハ民間ノ憲法研究會モサウ言ツテ居ル、

民主主義科學者同盟モ斯ウ云フ風ニ言ツテ居ル、若シサウナラバ、本議會デハ唯七十三條ノ此ノ條項ヲ修正シテ、サウシテ此ノ議會ニ於テ修正權ヲ與ヘルヤウニシナケレバナラヌ、是ガ先ヅ當然執ルベキ順序デアル、サウスルト金森國務相ニ御馳キシタイノハ、此ノ定説ヲドウ云フ風ニ解釋サレルカ、今マデ金森或ハ總理大臣兩相ノ言ハレル所ニ依レバ、此ノ議場ニ於テ修正シテ差支ヘナイト言ハレタ、サウスレバ此ノ七十三條ヲドウ云フ風ニ解釋サレテ斯ウ云フコトヲ言ハレルノデアルカ、是ガ御馳キシタイ

來ル、「マツカト」司令部ハ、現憲法ト新シイ憲法草案トノ法律上ノ聯關性ヲ要求シテ居ル、若シ七十三條ノ憲法改正手續ガ、今マデノ定説ガ正シイナラバ、是ハ覆ツテ來ル、少クトモ重大ナ疑問ガ生レテ來ル、即チ若シ政府ガ此ノ草案ヲ修正スルコトヲ認メルナラバ、今マデノ此ノ定説ニ依ツテ、現行憲法ニ抵觸スルコトニナル、違法ニナツテ來ル、隨テ法律上ノ聯關性ハナクナツテ來ル、私ハ恐ラク、聯合國側デハナゼ斯ウ云フコトヲ要求スルカト云ヘバ、假ニ將來聯合國側ガ日本ヲ撤退シタ場合ニ於テ、假ニ又日本ニ反動勢力ガ擡頭シタ場合ニ、此ノ反動勢力ガ今言ツタヤウナ手續上ノ不備或ハ疑問、之ヲ基礎ニシテ、此ノ新シイ憲法ハ是ハ違法デアル、第七十三條ニ違ツテ居

ル、斯ウ云フコトヲ彼等ガ主張シテ、サウシテ新シイ憲法ヲ蹂躪ルト云フ危險、可能性ガ生レテ來テ居ル(拍手)之ニ付テ私ハ吉田總理大臣及ビ金森國務相ニ御馳キシ

私ガ此處デ特ニ強調シタイコトハ、ナゼ此ノ憲法草案ヲ通過スルコトニ、コンナニ急ガナケレバナラナイカト云フコトデアル、政府ノ説明デハ、平和會議ニ早ク參加シナケレバナラナイシ、國際的仲間ニ早ク入ラナケレバナラナイ、勿論我々ハ之ニ贊成ダ、併シ國際的信用ト云フモノハ、唯一ツノ憲法ヲ作ルト云フダケニ依ツテ、之ヲ我我ハ獲得スルコトハ出來ナイ、實質的ニ日本ニ民主主義ヲ確立シテ、其ノ時ニ初メテ國際的信用ガ出來テ來ル、然ルニ現實ノ事實ハ、ドウカト云ヘバ、即チ政府ノ今日マデヤツテ居ル此ノ事實ヲ見ルト、戰時犯罪人ノ追究ハ非常ニ緩慢デアリ、消極的デアアル、軍國主義者、反動分子ハ公然フ狀態デアル、又徳田球一君ガ此處デ申シタヤウニ、各地方ニ於テ特色々人權蹂躪ノ事實ガ擡頭シテ居ル、是等ノ事實、是ハ明カニ反民主主義的ナ事實デアル、眞ニ國際的信用ヲ得トスルナラバ、此ノヤウナ反民主主義的事實ヲ日本ニ消滅シナケレバナラヌ、此ノ時ニ於テ初メテ國際的信用ガ上ツテ來ルト思フ(拍手)私ノ思フ所デハ、政府ノ眞ノ意圖ハ何處ニアルカト云ヘバ、今尙ホ人民大衆ノ間ニ於ケル民主主義ガ十分成長スル前ニ民主主義

的デナイ憲法ヲ作ツテ、サウシテ人民ノ徹底シタ民主主義的要求ヲ抑ヘルト云フ所ニ、茲ニ政府ノ根本意思ガアル

第三ノ問題、是ハ此處デ何度モ繰返サレマシタガ、私ハドウシテモ御馳キシナケレバナラナイ、是ハ主權ガ一體何處ニアルカト云フコトデアル、其ノ前ニ一ツ總理大臣ニ御馳キシタイノハ、總理大臣ハ國體維持ヲ條件トシテ「ボツダム」宣言ヲ受諾シタト、斯ウ申サレマシタ、此ノ問題デス、總理大臣ハ、聯合國ノ回答ハ何等國體問題ニ付テハ言及シナカッタト云フコトヲ、二十六日日本會議デ申サレマシタ、併シナガラ日本ノ降服時ニ於テ、確カニ日本政府ガ國體維持ヲ條件トシテ提出シタノハ、是ハ事實デアル、之ニ對シテ總理大臣ハ回答ガナカッタヤウニ言ハレタガ、私ノ解釋デハ明カニ茲ニ回答ガアルヤウニ

思フ、是ハ聯合國側ノ回答ノ第四項、此處ニ斯ウ書イテアル、日本政府ノ究極ノ政體ハ「ボツダム」宣言ニ依リ日本人民ノ自由ニ表明サレタ意思ニ依ツテ樹立サルベシ、是ガ問題デス、詰リ日本政府ノ究極ノ政體、之ヲ英語デハドウカ、英語デハ「アルティメイト・フォーラム・オブ・ザ・ガゼット」ト・オブ・ジャパン」、斯ウ云フ風ニナツテ居ル、詰リ「ガゼット」ト云フ終ノ形態、此ノ「ガゼット」ト云フ言葉ハ、國體トモ政體トモ譯シ得ルガ、併シ外國デハ國體モ政體モ區別ハナイ、日本デモ例ヘバ伊藤博文ノ如キ人デモ、初期ノ間ニハ此ノ二ツノ言葉ヲ使ツテ居ル、聯合國ノ方デハ、恐ラク之ニ依ツテ日本政府ノ國體保持ト云フ質問ニ對スル回答ヲ與ヘタト云フ風ニ我々ハ解釋モ出來マス、一體總理大臣ハ此ノ問題ニ付テドウ云フ風ニ考ヘラレルカ、果シテ聯合國ハ茲ニ於テ回答ヲナサラナカッタカドウカ、私ノ考ヘデハ明カニ回答シテ居ルトシカ考ヘラレナイ、即チ日本ノ國體ハ人民ノ意思ニ依ツテ決定セヨト云フコトガ是デアラサレテ居ル、サウスルト總理大臣ノ言ハレタアノ言葉ニハ矛盾ガアルノカ、或ハ嘘ガアルノカ、此ノ點ヲ私ハハツキリ御馳キシタイ

ソレカラ次ニ主權ノ問題ニ付テ、天皇ヲ含ム國民、是ガ毎度々々問題ニナツテ居リマスガ、此處デ御馳キ致シタイノハ、天皇ガ國民ナラバ、一體新シ

ニ於テ反動勢力、軍國主義的勢力ハ相當強ニ殘ル、斯ウ云フ場合ニ於テ天皇ノ手ニ此ノヤウナ特權ヲ委ネルコトハ、是等ノ反動分子ガ特權ヲ利用シテ又再ビ太平洋戰爭、其ノ他ノ侵略戰爭ヲ起シ可能性ガアル、斯ウ云フ危險ガアル、ダカラ我々ハ斯ウ云フ特權ヲ排除シナケレバナラス、ダカラ私ハ第七條ヲ廢メテ、サウシテ人民ニ本當ニ主權ガアルコトヲ明記スル、是ガ我々ノ主張デス、サウシテ國會ニ全權ヲ握ラセル、是ガ我々ノ主張デアアル、之ニ付テ總理大臣ニ御回答ヲ願ヒタイ、是ガ第三ノ問題デアリマス

第四ノ問題、是ハ國會ノ問題ニ付テ、コ、デハ二院制ガ書イテアリマス、衆議院ト參議院、併シ此處ノ討論及ビ政府側ノ御回答ノ中ヲ見テモ、參議院ノ性格、是ハハツキリシテ居ナイ、又之ニ付テモ地域的ナ代表ヲ出ストル、職域的ナ者ヲ出ス、斯ウ云フ意見ガアル、何レニシテモ今日マデノ此ノ討論デハ誰モハツキリシテ居ナイ、ソコデ一體何ノ爲ニ斯ウ云フ參議院ト云フモノヲ作ル必要ガアルカ、ナゼ一院ダケデハイケナイノカ、私達ハ一院デ出來ルト思フ、或ル人々ハ衆議院ダケデヤレバ多數黨ニ依ツテ公平デナイ決議ガ得ラレルカモ知レナイ、ソレガ爲ニ之ヲ制御スル爲ニ參議院トカ、或ハ外ニ斯ウシタ第二院ガ必要ダ、斯ウ云フ主張モアリマスガ、併シ我々ハ日本ノ人民ノ民主主義的ナ發展ヲ信ジタ

イ、民主主義的ナ發展ニ基イテ此ノ衆議院自體モ必ズ立派ナ議會ニナルコトト確信シテ居リマス、此ノ場合ニ於テナゼ一體此ノ衆議院ニ全權ヲ與ヘテハイケナイノカ、此ノ上ニモウツ、今ノ貴族院ノ形ノ變テヤウナアノ參議院ヲ設ケル必要ガドウシテアルノカ、私達ハ一院制デ十分ダト考ヘテ居ル、此ノ問題ニ付テ御回答ヲ願ヒタイ

更ニコ、デハ三權分立、是ガ規定サレテ居ル、一體三權分立ト云フコトハ絕對主義ニ對スル——是ハ「ヨーロッパ」ノ例デス、絕對主義ニ對スル資本家階級ノ批判トシテ、主權ヲ貴族ト資本家トガ争ツテ居ル時代ニ生レタモノデアアル、絕對主義ニ對シテ人民自身ガ國家權力ノ主體トシテ、其ノ立法權ガ絕對主義ノ先ニアルベキコトヲ主張シタモノデアアル、之ニ反シテ三權ガ分立スルコトハ、國家權力ノ執行權、即チ行政、司法、是ガ立法ニ優位スルコト、立法ノ上ニ行クコトニ實質的ニナツテ來ル、サウシテ議會ハ單ナル議決機關ニナル、實際ノ權限、權力ハ議會ニハナイ、是ガ民主主義的ナ形ヲ持ツタ、實ハ專制的ナ政治ノ仕組ダト私達ハ考ヘル、ダカラ私達ノ主張ハ此ノヤウナ三權ガ分立スルノデハナクテ、三權ガ一體化スルコト、統一サレルコト、即チ議會ニ全權ガアル、議會ニ依ツテ執行機關ガ作ラレルコト、之ヲ私達ハ最モ民主的ナ形ノモノダト考ヘテ居ル、即チ三權ノ分立デハナクテ、三權ノ統一、

是ガ第四ノ問題、之ニ付テ金森國務大臣ノ御回答ヲ仰ギタイ

第五番目ニハ國民ノ權利ト義務ノ問題ニ付テ、是ハ第三章ニアリマス、此處ニ基本權ガ皆決定シテアリマス、是ハ確カニ今マデノ憲法ヨリハズツト進歩シタモノデアアル、斯ウ云フ風ニ私達ハ考ヘルガ、併シ此ノ基本權、是ハ第十條、十三條、十七條、十八條、十九條、二十條、二十一條、二十五條、二十六條、斯ウアリマスガ、此ノ基本權ハ或ル制限ガ加ヘラレテ居ル、即チ公共ノ福祉ニ反シナイ限り、斯ウ云フ制限ガ付イテ居ル、所ガ法律ノ規定ニ依ツテ此ノ國民ノ權利ガ侵害サレナイト云フ保障ハ何處ニモナイ、茲ニ我々ハ非常ナ不安ヲ持ツテ居ル、ナゼナレバアノ人民彈壓ノ治安維持法其ノ他ノ惡法ガ社會ノ安寧秩序、人民ノ幸福ノ増進、斯ウ云フ項目ニ依ツテ作ラレテ居ル、ダカラ我々ノ主張シタイコトハ、斯ウ云フ風ニ基本權ガ憲法以外ノ法律ニ依ツテ侵サレナイト云フコトヲ是ニ明記シナケレバナラナイト思フ、

又我々ノ主張シタイコトハ、基本權ナルモノハ保障規定ガアツテ初メテ現實ニ有效ニ作用スルコトガ出來ル、例ヘバ、權利義務ノ中ニ集會ノ自由、結社、言論、出版ノ自由、職業選擇ノ自由、其ノ外アリマスガ、併シ斯ウ云フ自由モ現在ノ社會ノヤウナ階級ニ分レテ居ル場合ニ於テ、即チ金持ト貧乏人ニ分レテ居ル場合ニ於テハ、是等ノ自由ハ唯金持ニダケノ自由デアツテ、貧乏人ノ自由ニハナラナイ、例ヘバ集會シヨウト云ツテモ、或ハ言論出版ノ自由ガアルト云ツテモ、貧乏人ノ手ニハ印刷所モナイ、新聞モナイ、集會シヨウト云ツテモ「ホール」モナイ、ドウシテヤルノカ

〔共産黨ダケアルンダラウ〕ト呼ブ者アリ

○議長(樋貝詮三君) 靜肅ニ

○野坂參三君(續) 我々ハ憲法ノ中ニ之ヲ物質的ニ保障スルコトナ條項ヲ必ズ入レテ貰ヒタイ、入レルベキダト我々ハ主張シタイ、之ニ付テ金森國務大臣ノ御回答ヲ仰ギタイ、又是ハ社會黨ノ方カラモ言ハレマシタ、鈴木君ダト思ヒマスガ、色々勤勞者ニ對スル諸權利ヲ具體化スルヤウナ條項ヲ設ケルコト、此ノ點ニ付テハ私ハ社會黨ノ方ト大體ニ於テ贊成デスガ、私達ハモツト社會黨ヨリモ色々要求シタイコトガアル、最近私達共産黨デハ新シイ憲法草案ヲ作りマシタ、之ヲ二、三日中ニ、多分印刷出來次第發表スル管デス、之ニハ相當此ノ問題ニ付テ詳シク取上ゲテ居ル、例ヘバ勞働權利ノ外ニ、勞働者ガ企業ニ參加スル權利トカ、休息ノ權利、養老、疾病、發疾者ノ保護、失業者ノ保護、婦人ニ對スル特殊ノ保護、住宅ノ保障、中學校マデニ至ル義務教育制、其ノ他マダアリマスガ、斯ウ云フモノヲ我々ハ掲ゲテ居ルガ、斯ウ云フモノモ是非新シイ憲法草案ニ入レテ

質フベキコトヲ我々ハ要求シタイ、之ニ付テハ厚生大臣ノ御回答ヲ仰ギタイト思フ

猶テ最後ノ第六番目ノ問題、是ハ戰爭拋棄ノ問題デス、此處ニハ戰爭一般ノ拋棄ト云フコトガ書カレテアリマスガ、戰爭ニハ我々ノ考ヘデハ二ツノ種類ノ戰爭ガアル、二ツノ性質ノ戰爭ガアル、一ツハ正シクナイ不正ノ戰爭デアアル、是ハ日本ノ帝國主義者ガ滿洲事變以後起シタアノ戰爭、他國征服、侵略ノ戰爭デアアル、是ハ正シクナイ、同時ニ侵略サレタ國ガ自國ヲ護ル爲メノ戰爭ハ、我々ハ正シイ戰爭ト言ツテ差支ヘナイト思フ、此ノ意味ニ於テ過去ノ戰爭ニ於テ中國或ハ英米其ノ他ノ聯合國、是ハ防衛的ナ戰爭デアアル、是ハ正シイ戰爭ト云ツテ差支ヘナイト思フ、一體此ノ憲法草案ニ戰爭一般拋棄ト云フ形デナシニ、我々ハ之ヲ侵略戰爭ノ拋棄、斯ウスルノガモツト的確デハナイカ、此ノ問題ニ付テ我々共産黨ハ斯ウ云フ風ニ主張シテ居ル、日本國ハ總テノ平和愛好諸國ト緊密ニ協力シ、民主主義的國際平和機構ニ參加シ、如何ナル侵略戰爭ヲモ支持セズ、又之ニ參加シナイ、私ハ斯ウ云フ風ニ條項ガモツト的確デハナイカト思フ、此ノ問題ニ付テ總理大臣ニ此處デモウソレハ總田球一君ガ此處デ總理大臣ニ質問シタ場合ニ、總田球一君ハ此ノ戰爭ハ侵略戰爭デアアル、之ニ付テ總理大

臣ハドウ云フ風ニ考ヘラレルカト云ツタ場合ニ、總理大臣ハ唯徳田君ノ意見ニハ反對デアルト云フ風ニ言ハレタ、サウスルト此ノ御回答ハ、徳田君ガ侵略戰爭ト性質付ケタアノ性質付ケニ反對サレノカドウカ、逆ニ言ヒ換ヘレバ、首相ハ過去ノアノ戰爭ガ侵略戰爭デハナイト考ヘラレルカドウカ、之ヲ此處デハツキリト云フモ、ハ一片ノ宣言ダケデ、或ハ憲法ノ條文中中ニ一項目入レルダケニ依ツテ實現サレルモノデハナイ、軍事的、政治的、經濟的、思想的根因、此ノ根本原因ヲ廢滅スルコト、是ガ根本ダト思フ、即チ我々ハ戰爭犯罪人ヲ徹底的ニ究明スルコト、之ニ付テ先程申シマシタヤウニ、政府ハ非常ニ緩慢ナヤウニ見エ、或ハ怠慢ノヤウニモ見エ、私ハ總理大臣、内務大臣或ハ必要ナラバ司法大臣ニ御聽キシタイガ、政府ハ此ノ戰爭犯罪人、此ノ中ニハ積極的ナ者モアリ、又消極的ナ者モ含マレルガ、之ヲ何處マデ徹底的ニ究明サレル所存デアアルカ、何時下ノ位之ヲ處置サレル積リデアアルカ、之ヲ御聽キシタイ、又第二ニハ戰爭ヲ實際ニ廢滅スルニハ、現在マダ秘密或ハ公然ト存在スル所ノ反動諸團體、之ノ指導者、之ニ對スル取締ヲ内務大臣ハ現在下ノヤウニヤツテ居ラレカ、第三ニハ實際ニ戰爭ヲ廢滅スルニハ政治上ニ獨裁機構ヲ作ツテハナラナイ、之ヲ徹底的ニ廢滅スル、官僚主

義、官僚機構、之ニ徹底的ニ廢滅シナケレバナラス、此ノ點ニ於テドノ程度マデ政府ハヤツテ居ラレカ、ヤラウトサレテ居ルカ、又侵略戰爭ノ原動力デアアル所ノ財閥、之ノ解體ノ狀態ガドノ程度マデ進行シテ居ルカ、又第五ニハ、日本ノ封建主義ノ土壤デアリ、基礎デアアル所ノ封建的ナ土地所有制度、是ノ改革ニ付テ農林大臣ハドノヤウニ今ヤラレテ居ルカ、既ニ農地調整法ガ出來テカラ半年以上過ギテ居ルガ、一體下ノヤウニ進行シテ居ルカ、又政府ハ土地改革ヲ約束サレタヤ、何時如何ニシテ此ノ約束ヲ實行サレヨウトスルカ、之ヲ此處デ則言シテ戴キタイト思フ、第六番目ニ、是ハ特ニ文部大臣ニ御聽キシタイガ、戰爭ノ犯罪性、侵略戰爭ノ犯罪性、過去ノ日本ノ戰爭ガ帝國主義的デアリ、侵略的デアルト云フコトヲ、一體教育面ニ於テドノ程度マデ徹底的ニ實行サレテ居ルカ、之ヲ具體的ニ說明シテ戴キタイト思フ、是ガ第六デアリマス

徹底サレタ後、皇室ノ問題ヲ人民投票ニ問ウテ決定スル方針デアアルコトハ、我が黨ガ豫テカラ聲明シタ通りデアアル、斯ウ云フ風ニ書イタル

階テ此ノ憲法草案ノ結論トシテ、私達ノ見解ハ、此ノ憲法草案ハ主權在民ト云フ形ヲ取りナガラ、實ハサウデハナクテ主權在君デアアル、斯ウ云フ風ニ解釋セザルヲ得ナイ、是ハ吉田首相トカ或ハ其ノ他ノ大臣方ガ此處デ申サレタ演説ノ中カラモ明カデアアル、又此ノ草案自體カラモ明カデアアル、ナゼサウカ、結論の申セバ、第一コ改正手續ガ民主的デアナイ、第二ニ時期ガ尙早デアアル、國內ニマダ民主主義の十分ノ條件ガ成熟シテ居ナイ此ノ時ニ、此ノヤウナ憲法ガ提出サレテ居ル、第三ニ憲法草案ノ第一章ニ國民ヲ持ツテ來ズニ天皇ガ出テ居ル、是ガ明カニ主權在君ヲ示スモノダト理解セザルヲ得ナイ、第四ニ天皇ハ政治ニ關スル權能ヲ有シナイト言ヒナガラ、例ハ總理大臣ノ任命權トカ、國會ノ召集解散、總選舉ノ執行權、サウ云フモノヲ持ツテ居ル、是ハ明カニ主權在君ヲ示スモノデアアル、第五ニ天皇ヲ尊嚴ナルヲ持ツテ居ル、榮譽ヲ與ヘル權力ヲ持ツテ居ル、是ハ天皇ヲ尊嚴ナルモノトシテ居ル國家ノ態勢デアアル、隨テ是ニ主權在君ガアル、六番ニ、國民ノ權利及義務テハ公共ノ福祉ノ名ニ依ツテ幾多ノ權利ガ制限サレテ居ル、是モ非民主的ナ規定デアアル、第七ニ國會デハ參議

院ノ制度ヲ置イテ、新シイ形ノ貴族院制度ヲ設ケヨウトシテ居ル、是非非民主的ナモノデアアル、第八ニ三權ガ分立シテ居ル、サウシテ官僚制度ヲ維持シヨウト云フ風ナ魂膽モ是ニ明カニ見エテ居ル、人民ハ此ノヤウナ民主主義ノ假裝ノ下デ、非民主主義的ナ實體ヲ隱サウトスルヤウナ政府ノ意圖ニ反對スル、我々共產黨ハ凡ユル機會ヲ利用シテ此ノ草案ノ非民主的性質ヲ暴露シテ、又之ヲ修正スルコトニ努力スル、私達ハ此ノ草案ニ付テ小委員會ニ於テ飽クマデ我々ノ正シイト信スルコト、是ガ眞ニ日本ノ民主主義ヲ確立スベキ憲法デアルト云フモノニスル爲ニ、我々ハ全力ヲ盡ス積リデス、是デ私ノ質問ハオ終ヒデス

〔共產黨ノ性格ヲハツキリシロト呼ブ者アリ〕

○議長(樋貝詮三君) 辯論ニ願ヒマス

○野坂參三君(獲) 議長、一言言ツテ宜イデスカ

○議長(樋貝詮三君) ……

○野坂參三君(獲) 今社會主義ガ何カト云ハレタ質問ガアリマス、之ヲ簡單ニ…

〔ソナナコトハ止マロ〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ

○議長(樋貝詮三君) 私語ニ對スル答辯ハ之ヲ許シマセヌ—吉田内閣總理大臣

〔國務大臣吉田茂君登壇〕

○國務大臣(吉田茂君) 御質問ニ御答

ヘ致シマス、先ツ國體維持ト「ホツダム」宣言受諾トノ關係ニ付テ、昨日此ノ議場ニ於キマシテ私カラ一應說明ヲ致シマシタ、其ノ說明ノ通りデアリマスルガ、尙ホ此處ニ附加ヘテ軍令中シマスガ、八月十日附テ帝國政府ハ國體維持ヲ諒解事項トシテ「ホツダム」宣言ヲ受諾シタデアリマス、翌日八月十一日ニ米國政府カラハ、降服ノ時カラ天皇及ビ日本國政府ノ國家統治ノ權限ハ降服條項實施ノ爲メ其ノ必要ト認ムル措置ヲ執ル聯合軍最高司令官ノ權限ノ下ニ置カル、斯ウ云フ返事ガアツテ、其ノ返事ノ中ニハ國體維持ニ關スル點ニ付テハ何等觸レル所ナイノデアリマス(拍手)

又戰爭拋棄ニ關スル憲法草案ノ條項ニ於キマシテ、國家正當防衛權ニ依ル戰爭ハ正當ナリトセラル、ヤウデアアルガ、私ハ斯クノ如キコトヲ認ムルコトガ有害デアルト思フデアリマス(拍手) 近年ノ戰爭ハ多クハ國家防衛權ノ名ニ於テ行ハレタルトコトハ顯著ナル事實デアリマス、故ニ正當防衛權ヲ認ムルコトガ偶々戰爭ヲ誘發スル所以デアルト思フデアリマス、又交戰權拋棄ニ關スル草案ノ條項ノ期スル所ハ、國際平和團體ノ樹立ニアルノデアリマス、國際平和團體ノ樹立ニ依ツテ、凡ユル侵略ノ目的トスル戰爭ヲ防止シヨウトスルノデアリマス、併シナガラ正當防衛ニ依ル戰爭ガ若シアリトスラバ、其ノ前提ニ於テ侵略ノ目的トス

ル戰爭ヲ目的トシタ國ガアルコトヲ前
提トシナケレバナラヌノデアリマス、
故ニ正當防衛、國家ノ防衛權ニ依ル戰
争ヲ認ムルコト云フコトハ、偶々戰爭ヲ
誘發スル有害ナ考ヘデアアルノミナラ
ズ、若シ平和團體ガ、國際團體ガ樹立
サレタ場合ニ於キマシテハ、正當防衛
權ヲ認ムルコト云フコトソレ自身ガ有害
デアルト思フノデアリマス、御意見ノ
如キハ有害無益ノ議論ト私ハ考ヘマス
(拍手)

〔國務大臣金森德次郎君登壇〕

○國務大臣(金森德次郎君) 現行ノ憲
法ハ民主主義憲法ナリヤ否ヤト云フコ
トニ付キマシテ、目下行ハレテ居リマ
スル裁判ノ關係ニ於テノ外國ノ人ノ言
葉ヲ引用シテ、之ヲ是認スルカ否カト
云フ御尋ネデゴザイマシタガ、此ノ場
合、特殊ナ場合ニ特殊ナ人ガ用ヒラレ
タル言葉ヲ批判的ニ論議致シマスルコ
トハ避ケタイト存ジマス(拍手)

第二ニ今回ノ憲法草案ハ、天皇ノ權

能ガ神授セラル、ト云フ考ヘニ基イテ
居ルカト云フ御尋ネデアリマシタガ、
神授ト云フ思想ニ基イテハ居リマセス
第三ニ憲法ヲ制定スルニハ未ダ十分
ノ時期ガ成熟シテ居ナイト云フ風ニ思
フガドウカト云フ御尋ネデアリマシタ
ガ、實際の見地カラシテ憲法ヲ制定ス
ルニ適スル時期ガ到來シテ居ルト判斷
シテ居リマス(拍手)

次ニ現行憲法ト改正憲法トノ關係性

ニ付テ、學者ノ意見ニ依レバ、憲法七十

三條ノ條項ニ依ル限リ、議會ハ修正權
ガナイト云フヤウニ定説ガナツテ居ル
ト云フ風ノ御議論ヲ以テ御質疑ニナリ
マシタガ、私共ハ、政府トシテ考フル
所見ト議會ノ考ヘラル、解釋、此ノ兩
方ニ依ツテ此ノ憲法改正ノ條項ノ根據
ヲ確メタイト思フテ居リマス(拍手)

次ニ此ノ修正案ノ修正ヲ議會ニ對シ

テ認ムルナラバ、今マデノ學說ニ違反
スルコトトナル、隨テ折角憲法ノ改正
ヲシテモ、他日ソレガ無効トセラル、
可能性ガ起ルノデハナイカト云フ趣旨
ノ御尋ネデアリマシタガ、我々ハ政治
ヲ行フ上ニ責任アル立場ト、之ヲ議ス
ル所ノ議會ノ責任アル御意見、之ニ依
ツテ憲法ヲ改正致シマスルナラバ、ソ
レニ依ツテ他日ノ效力ヲ心配スル必要
ハナイト信ジテ居リマス(拍手)

次ニ此ノ思想ノ急變スル時代ニ於テ

民主主義憲法ヲ急グドウ云フ必要ガア
ルカ、我々ハ現在ノ此ノ思想ノ混亂期
ナレバナル程、成ベク正確ニ、十分論
議ヲ盡シテ、而モ迅速ナル變更ヲスル
コトガ必要デアラウト考ヘテ居リマス
(拍手)

主權ノ存在ノ問題ニ付テ、少クトモ

私ノ答ヘガ曖昧デアルカノ如クニ考ヘ
ラレマスルヤウナ御質疑デアリマシタ
ガ、是ハ先程細道君ノ御質疑ニ對シテ
答ヘマシタコトニ依ツテ明瞭デアラウ
ト存ジマス、而シテ天皇ガ國民デア
ルナラバ、國民ハ平等デアリ、選舉權、
被選舉權モ天皇ニナケレバナラナイ

シ、又天皇ノ選舉スル制度ニナゼシナ
イカ、斯ウ云フ御質問ガアリマシタ
ガ、先程別ノ機會ニ御答ヘテ致シマシ
タ通り、天皇ハ國ノ象徵デアリ、公平
無私ナル立場ニアラセラレマスガ故
ニ、選舉權、被選舉權ニ付テハ認ムル
必要ガナイ、又選舉セヌカト云フコト
ハ、是ハ日本ノ此ノ憲法ヲ作ル建前ニ
於テ、此ノ草案第一條ノ規定ガ示スガ
如ク、國民ノ總意ニ基クテ云フコトガ
適カニ完全ナル方法デアリ、理ノ當然
ナル方法ト思フノデアリマス(拍手)

ソレカラ次ニ國民感情ヲ基礎トスル

ト云フ考ヘ方ニ基イテ主權ノ所在ヲ主
張スルノハ、恰モ新ナル神權設デア
ルト云フヤウナ考ヘデアリマシタガ、
感情ト云フ言葉ハ、主トシテ私ノ言説
ニ關スル限リ感情トハ言ツテ居リマセ
ヌ、國民ノ心ト言ツテ居リマスガ、兎
ニ角心ヲ捨テテ國民ノ統合或ハ國家ノ
基本ト云フコトガドウシテ考ヘラレマ
セウカ

次ニ憲法草案ト英文トノ間ニ若干ノ

相違ガアル、是ガ何カノ策謀ヲ含ンデ
居ル嫌ヒガアルヤウニ恐ラクハ御考ヘ
ニナツタノデハナイカト思ヒマスル
ガ、日本國ノ憲法ハ日本國ノ文字ヲ以
テ書カレマシテ、玆ニ現ハレテ居ルモ
ノガソレデアリマス、英文ハ翻譯ニ過
ギマセヌ、而モ實際ニ於テ意味ノ上ニ
異ナル所ガナイト考ヘテ居リマス(ヒ
ヤヒヤ)(拍手)天皇ガ第七條ノ權能ヲ適
法ニ或ハ適當ニ行使セラレザル時ハド

ウナルカ、又或ハ此ノ權能ヲ他ノ者ガ
濫用スル虞ハナイカト云フコトデアリ
マスルガ、是ハ皆樣ガ能ク御考ヘ下サ
ルナラバ、政治的考察ニ於テドノ角度
カラ見テモ濫用ヲ生ズル虞ハナイト考
ヘテ居リマス(ヒヤ)(拍手)

二院制ニ於キマシテ參議院ヲ何ノ爲

ニ作ルカ、參議院アルコトハヤハリ民
主政治ノ裏ヲ行クモノデハナイカト云
フヤウナ御考ヘノヤウニ見受ケマシタ
ガ、參議院設置ノ制ハ決シテサウデハ
アリマセス、國民代表ノ機關タル參議
院ニ依リマシテ國政ガ慎重ニ行ハレテ
行クコトヲ期スルノ一途ニ外ナラナイ
譯デアリマス、又三權分立ハ執行權ガ
立法權ニ優位スル、ソレハ宜シクナ
イ、議會ガ全權ヲ持ツテ統一ヲシテ行
クノガ宜イデハナイカト云フ前提ノ下
ニ御質疑ニナリマシタガ、固ヨリ權力
ノ分立ト云フコトハ、ソレ自身ガ絕對
ノ眞理デハゴザイマセス、權力ノ統合
コソ絕對ノ眞理デアラウト思ヒマス
レドモ、併シ權力ノ統合ト云フコトガ
即チ權力ノ濫用ヲ導クノデアリ、分離
シツ、而モ統合サレテ行ク所ニ、眞ノ
憲法政治ノ意味ガアラウト存ジマス
(拍手)

尙ホ其ノ他ニ基本權ニ付キマシテ、

種々ナル御考ヘガ表明セラレマシタ
ガ、大體ソレニ付キマシテハ、結論ト
シテ既ニ此ノ演壇ニ於テ御主張ニナリ
マシタガ、多ク御答辯スル必要ハナ
イモノト考ヘマス(拍手)

〔國務大臣河合長成君登壇〕
○國務大臣(河合長成君) 只今野坂君
カラ第三章ノ國民ノ權利義務ノ章中
ニ、勞働權トカ、國民生活權等ニ關ス
ル、モット色々ノ規定ヲ入レテハドウ
カ、此ノ點ニ付テ私ニ答辯ヲ求メラレ
マシタカラ御答ヘ致シマスガ、野坂君
ノ言ハレル通り、第三章ノ規定ハ中々
進歩的ニ親切ニ出來テ居ル、先ツ社會
通念ト致シマシテ、是レ位ノ所デ宜イ
ノデヤナイカト思フテ居リマス、國民
生活ノ問題ノ如キ、色々希望ヲ申シマ
スレバ、例ヘバ市民ハ風呂ニ入ラナク
チャナラヌ入浴權ガ要ル、或ハ子供ニ
ハ牛乳ヲ飲マセテナクチャナラヌカラ、
ヤハリ牛乳ヲ飲ム權利モ要ル譯デアリ
マス、是ハ實際ノナイコトニナリマス
(「違フ」「違フモノカ」ト呼ブ者アリ)

我々ハ人間ヲ見マスルニ、後ロカラ人

間ヲ見テモ、ヤハリ鼻モ口モ目モアル
コトガ分ルノデアリマスカラ、此ノ大
キナ骨組ガアレバ、大體細カイトハ
是デ分ルト云フノガ社會通念ナリト思
ヒマス、サウ云フ意味ニテ私ハ御答ヘ
致シマス

〔國務大臣大村清一君登壇〕

○國務大臣(大村清一君) 今般國家行
政ヲ民主主義ノ線ニ沿ウテ改革スベ
ク、只今憲法改正案ヲ御審議中デゴザ
イマスルガ、中央政治ヲ民主主義化スル
ニ付キマシテハ、一面ニ於キマシテ地
方政治ヲ大ニ民主化スル必要ガアル
ノデアリマス、就キマシテハ近ク地方

行政制度ノ全般の改革案ヲ提出致シマシテ、各位ノ御審議ヲ仰ギ、國政ト相俟ツテ地方行政ヲ民主主義ノ線ニ沿ツテ徹底ノ改正ヲシタイト考ヘテ居リマス、尙ホ地方制度ノ改正ト共ニ、私共トシテ最モ意ヲ用ヒナケレバナラズノハ警察ノ改善ダト思ヒマス、警察ヲ民主主義ノ線ニ沿ウテ改善致シマスコトニ付キマシテハ、終戦以來大イニ努力致シテ來テ居リマスルガ、現状ヲ以テシテハ未ダ満足スベキ所マデ到達シテ居ナイコトハ申上ゲルマデモナイコトダト思ヒマス、警察ノ改善ニ付キマシテハ、今後モ大イニ努力ヲ繼續スル積リテ居リマス、尙ホソレニ伴ウテ必要ナル法律ノ改正乃至御制定ヲ仰グト云フ必要モ起ツテ來ルカト存ジテ居リマス、ソレ等ハ次ノ議會——成ベク早ク案ヲ具ヘマシテ、各位ノ御協賛ヲ仰ギタク考ヘテ居ル次第デアリマス

尙ホ官僚制度、官僚組織ノ徹底的打破ト申シマスカ、其ノヤウナ意味ノ御質問ガゴザイマシタガ、從來ノ如キ官僚制度、官僚組織ニ對シマシテハ、民主主義的ナル改善ヲ加ヘル點ガ多クアルコトト存ジマスルガ、併シ官僚制度ヲ全廢スルト云フ譯ニハ參ラナイト考ヘマス、議會政治ノ發達ノ爲ニハ、之ト伴ヒマシテ健全ナル官僚制度、新シイ官僚制度ヲ打立テルコトガ絕對必要ダト思フノデアリマス、若シ官僚制度ト云フ名前ガ適當デナイト致シマシタナラバ、新シイ意味ヲ之ニ持タセル爲

ニ、吏僚制度ト申シテモ宜カラウカト思ヒマスルガ、此ノ健全ナル吏僚制度ハ今後大イニ打立テマシテ、サウシテ議會政治ノ健全ナル發達ニ寄與シナケレバナラスト思フノデアリマス、之ニ付キマシテハ、恐ラク近い機會ニ公務員法ト申シマスカ、或ハ官吏法トモ云フベキモノガ制定セラレマシテ、其ノ基準ノ下ニ、間違ヒノナイ、從來ノ如キ誤ラザル健全ナル制度ヲ打立テタイモノト考ヘテ居ル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣田中耕太郎君登壇〕
○國務大臣(田中耕太郎君) 御答へ致シマス、過去ノ日本ノ戰爭ノ罪惡性、侵略性ヲ人民ノ間ニ徹底サセルコトヲ決意シテ居ルカドウカ、又ドウ云フ風ニヤツテ居ルカト云フ御質問デアリマシタ、文部省ト致シマシテハ、或ハ教育人事ノ方面ニ付キマシテ、或ハ教育内容ノ方面ニ付キマシテ努力ヲ致シテ居リマス次第デアリマス、教育人事ノ方面ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ、教職員資格審査ノ規定ノ中ニ於キマシテ、軍國主義、侵略主義ノ要素ヲ徹底的ニ排斥スル意味ヲ以テ、今徐々ニ實現ノ緒ニ就イタ次第デアリマス、又此ノコトハ教職員ノ頭ノ切替ヘヤスル必要ガアルノデアリマシテ、此ノ教員ノ再教育ト云フ點ニ付キマシテモ、或ハ師範教育制度其ノ他ヲ根本的ニ反省致シマシテ、或ハ又其ノ時々ノ實情ニ應ジタ

教員再教育ヲ實行致シタイト思フテ居ル次第デアリマス
教育内容ノ方面ニ付キマシテハ、我ハ或ハ教師用指導書デアルトカ、或ハ道ツテ段々出來上ツテ參リマスル教科書ノ中ニ、或ハ講演其ノ他ノ方法ヲ以テ、日本ノ過去ノ國策及ビ教育ノ誤謬並ニ既往數年間ノ國家的罪惡ヲ根本的ニ反省スルコトニ決シテ躊躇スルモノデハナイノデアリマス、我々ハ今軍國主義、侵略主義カラ、民主主義、平和主義ノ方向ヘノ宗教的「コンヴェーシオン」ノ時機ニ、關頭ニ立ツテ居ルト云フコトヲ反省致シマシテ、民主主義、平和主義、人類愛コソ、世ノ初メカラ世ノ終リマデ變ラナイ眞理アルコトヲ、凡ユル方法ヲ以テ徹底サセタイト努力致シテ居リマス(拍手)併シ此ノ精神ヲ國民全體ニ滲透サセマスコトハ、是ハ實ニ容易ナラスコトデアリマシテ、忍耐強クヤラナケレバナリマセ

ス、相當ノ時日ヲ要スルコトデアリマスガ、政府ハ之ニ付キマシテ固イ決意ヲナシテ居ルモノデアリマシテ、其ノ點ニ付キマシテハ野坂君ニ於ケレマシテハ御安心アツテ然ルベキダト思ヒマス(拍手)是デ以テ私ノ答辯ヲ終リマス
○議長(樋貝詮三君) 野坂君ニ申上ゲマスガ、和田農林大臣ハ日下登院シテ居リマセヌノデ、御返事ハ回答出來ナイコトニナツテ居リマス、宜シウデザイマスカ
○野坂參三君 此ノ問題ハ非常ニ重要

ナ問題デスカラ、他ノ機會ニ回答願ヒマス
○議長(樋貝詮三君) ソレデ宜シウゴザイマスカ
○野坂參三君 後カラデ宜シウゴザイマス、今ノ各大臣ノ答辯、特ニ總理大臣ノ答辯ハ非常ニ不満足ナモノデアリマシタシ、私達ノ一番知リタイ問題ヲ御答へニナラナカウタガ、併シ是レ以上質問シテモ又同ジコトダト思ヒマスカラ、是デ私ノ質問ハ打切りマス
○議長(樋貝詮三君) 布君ヨリ先刻ノ發言中取消ノ爲メ議事進行ノ發言ヲ求メラレテ居リマス、此ノ際之ヲ許シマス——布利秋君
○布利秋君 先刻……
〔登壇々々〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——布君ニ申上ゲマス、登壇ヲ望ミマス
〔布利秋君登壇〕
○布利秋君 先刻私ノ發言ノ言葉ノ中ニ、他ハ果ヲ及ボスコトヲ惧レマシテ——ト言ツタ言葉ノ取消ヲ致シマス
〔發言スル者アリ〕
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○山口喜久二郎君 本案ハ議長指旨、七十二名ノ委員ニ付託セラレレンコトヲ望ミマス

ナ問題デスカラ、他ノ機會ニ回答願ヒマス
○議長(樋貝詮三君) ソレデ宜シウゴザイマスカ
○野坂參三君 後カラデ宜シウゴザイマス、今ノ各大臣ノ答辯、特ニ總理大臣ノ答辯ハ非常ニ不満足ナモノデアリマシタシ、私達ノ一番知リタイ問題ヲ御答へニナラナカウタガ、併シ是レ以上質問シテモ又同ジコトダト思ヒマスカラ、是デ私ノ質問ハ打切りマス
○議長(樋貝詮三君) 布君ヨリ先刻ノ發言中取消ノ爲メ議事進行ノ發言ヲ求メラレテ居リマス、此ノ際之ヲ許シマス——布利秋君
○布利秋君 先刻……
〔登壇々々〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——布君ニ申上ゲマス、登壇ヲ望ミマス
〔布利秋君登壇〕
○布利秋君 先刻私ノ發言ノ言葉ノ中ニ、他ハ果ヲ及ボスコトヲ惧レマシテ——ト言ツタ言葉ノ取消ヲ致シマス
〔發言スル者アリ〕
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○山口喜久二郎君 本案ハ議長指旨、七十二名ノ委員ニ付託セラレレンコトヲ望ミマス

ナ問題デスカラ、他ノ機會ニ回答願ヒマス
○議長(樋貝詮三君) ソレデ宜シウゴザイマスカ
○野坂參三君 後カラデ宜シウゴザイマス、今ノ各大臣ノ答辯、特ニ總理大臣ノ答辯ハ非常ニ不満足ナモノデアリマシタシ、私達ノ一番知リタイ問題ヲ御答へニナラナカウタガ、併シ是レ以上質問シテモ又同ジコトダト思ヒマスカラ、是デ私ノ質問ハ打切りマス
○議長(樋貝詮三君) 布君ヨリ先刻ノ發言中取消ノ爲メ議事進行ノ發言ヲ求メラレテ居リマス、此ノ際之ヲ許シマス——布利秋君
○布利秋君 先刻……
〔登壇々々〕ト呼ビ其ノ他發言スル者多シ
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——布君ニ申上ゲマス、登壇ヲ望ミマス
〔布利秋君登壇〕
○布利秋君 先刻私ノ發言ノ言葉ノ中ニ、他ハ果ヲ及ボスコトヲ惧レマシテ——ト言ツタ言葉ノ取消ヲ致シマス
〔發言スル者アリ〕
○議長(樋貝詮三君) 靜肅——是ニテ質疑ハ終了致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス
○山口喜久二郎君 本案ハ議長指旨、七十二名ノ委員ニ付託セラレレンコトヲ望ミマス

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議事日程ハ終了致シマシタ、明二十九日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後五時十六分散會

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議事日程ハ終了致シマシタ、明二十九日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後五時十六分散會

○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、是ニテ議事日程ハ終了致シマシタ、明二十九日ハ定刻ヨリ本會議ヲ開キマス、議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日は是ニテ散會致シマス
午後五時十六分散會

定價 一部 七十錢

發行所 東京都麹町區大手町
電話 九ノ内 三五二
振替東京 一九〇〇〇〇
印刷局